

馬淵川に関するアンケート調査結果

平成21年3月16日
国土交通省 東北地方整備局

1. 調査方法

アンケート方法

アンケート用紙への直接記入（返信封筒を添付、郵送による回答）

調査対象および配布方法

馬淵川水系沿川市町村（1市4町1村）を対象に、各地方自治体経由で各戸に配布

アンケート調査期間

平成21年1月：1ヶ月程度

アンケート項目

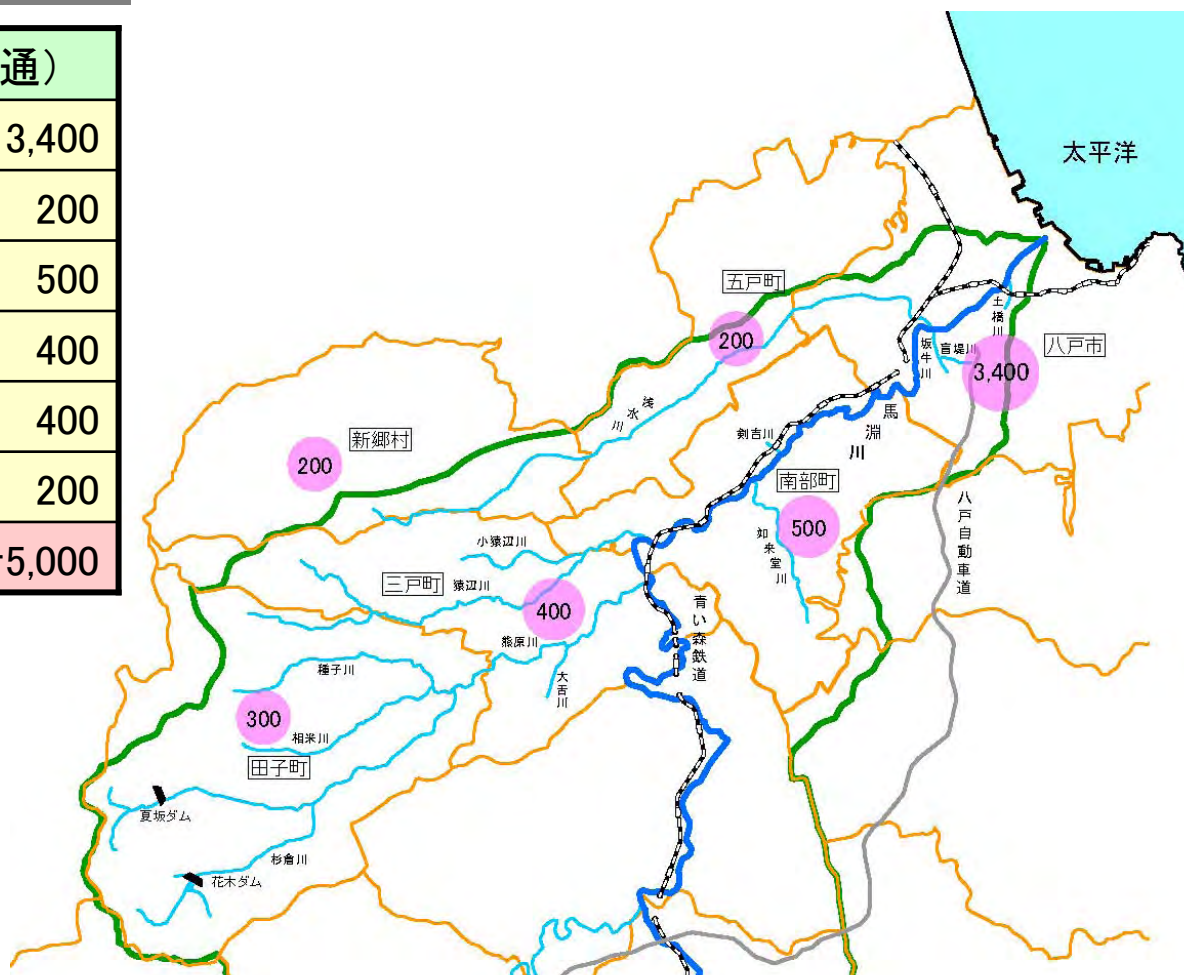
- ・川とのかかわり
- ・川のイメージ
- ・川への満足度
- ・川と地域住民の関わりについて
- ・川の整備の進め方について
- ・記入者情報

2. アンケート配布部数

5,000部

市町村名	配布数(通)
八戸市	3,400
五戸町	200
南部町	500
三戸町	400
田子町	400
新郷村	200
	計5,000

100 アンケート配布地域
(円内の数字は配布部数)



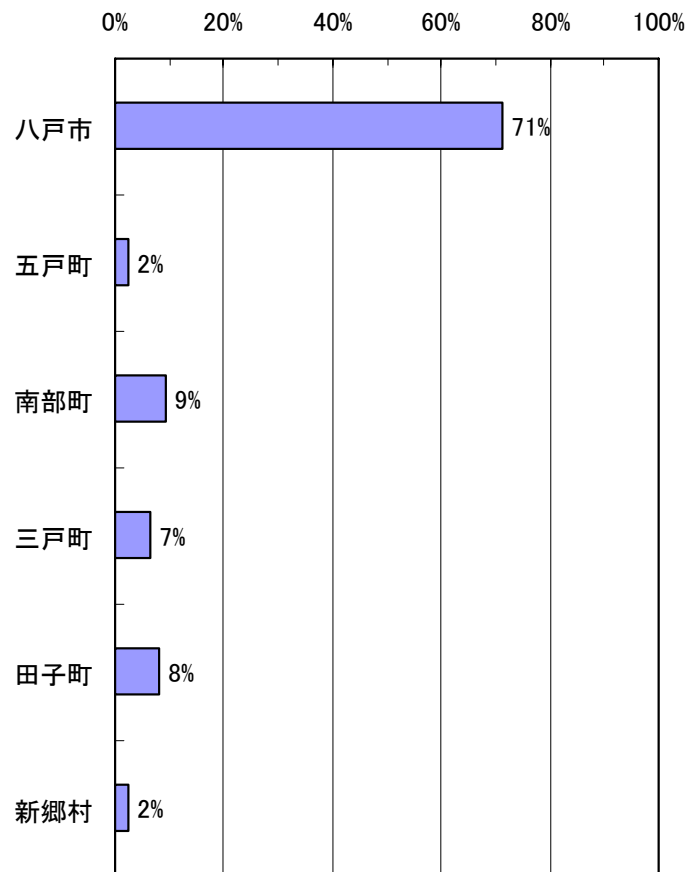
アンケート配布地域

3. アンケート回収率

- ・回収数1,465件／配布数5,000件＝回収率29.3%
- ・有効回収数1,117件／配布数5,000件＝回収率22.3%

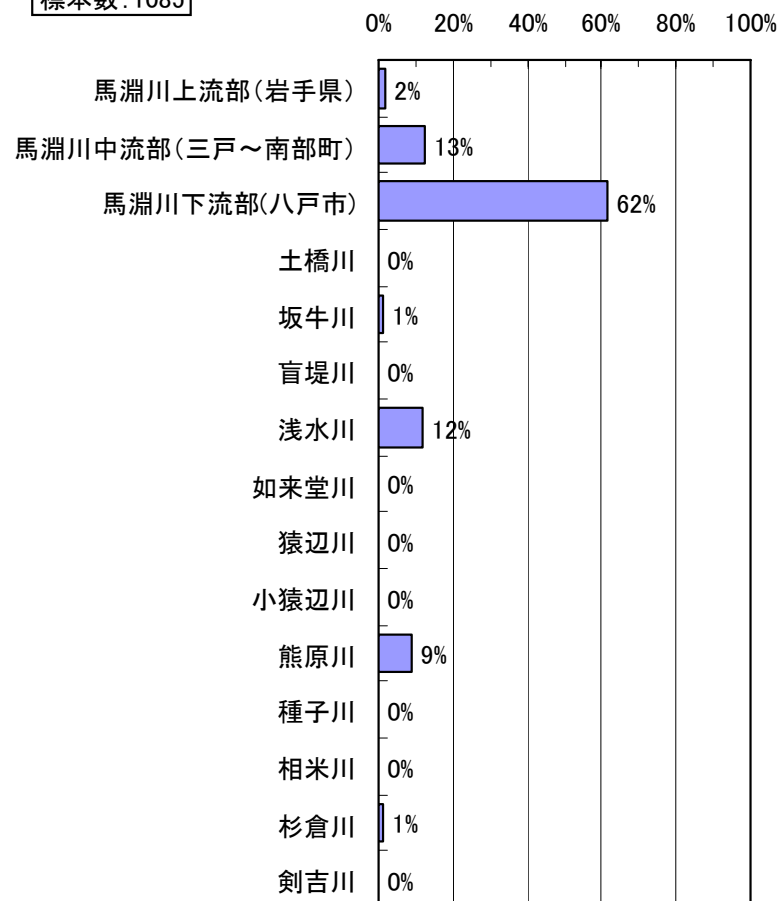
居住市町村別の回答数

標本数: 1087



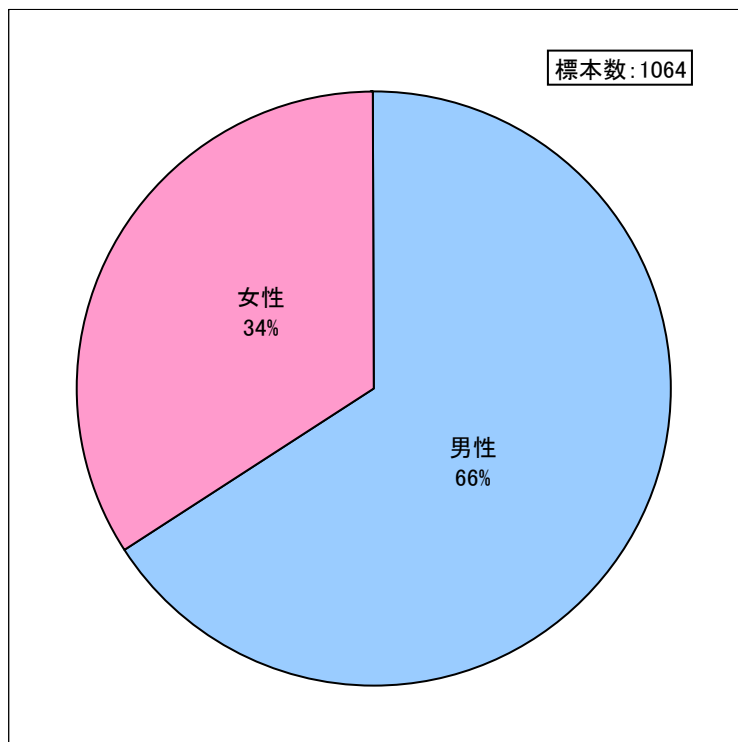
身近な川別の回答数

標本数: 1085

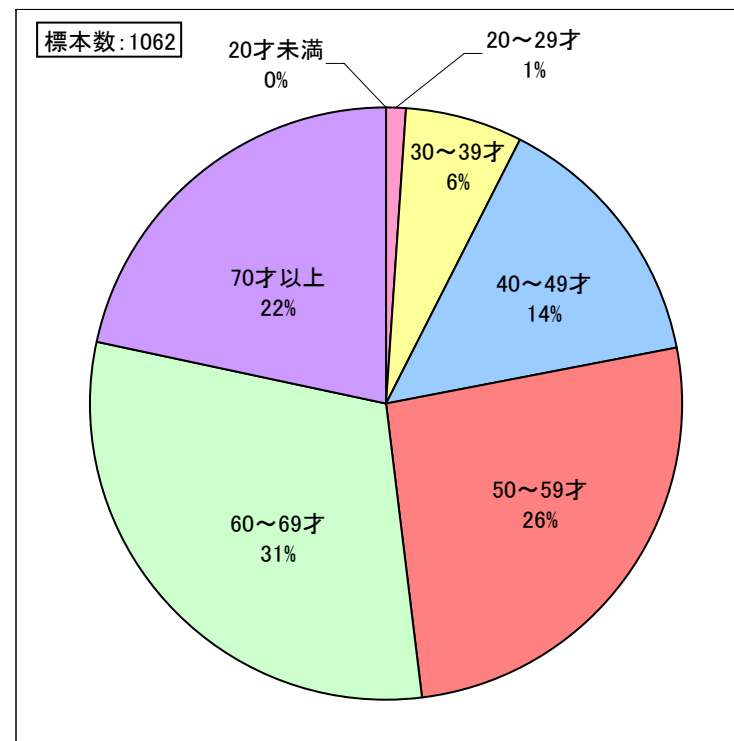


4. アンケート記入者の構成

問1. 性別

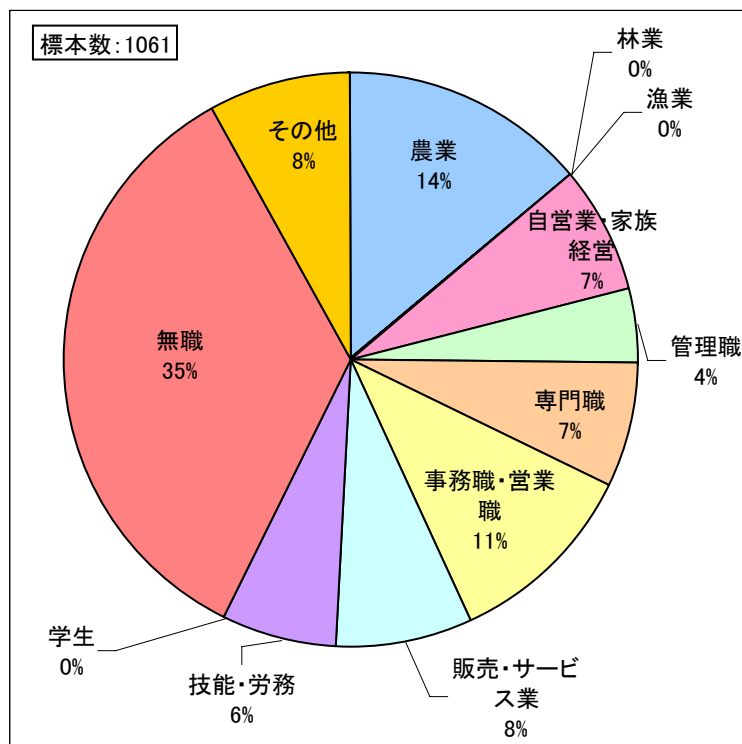


問2. 年齢

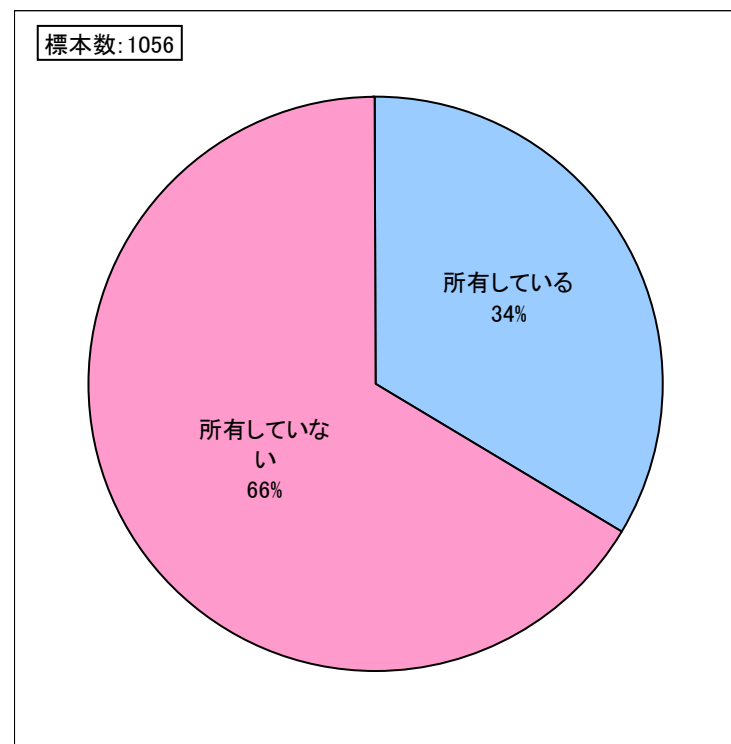


4. アンケート記入者の構成

問3. 職業

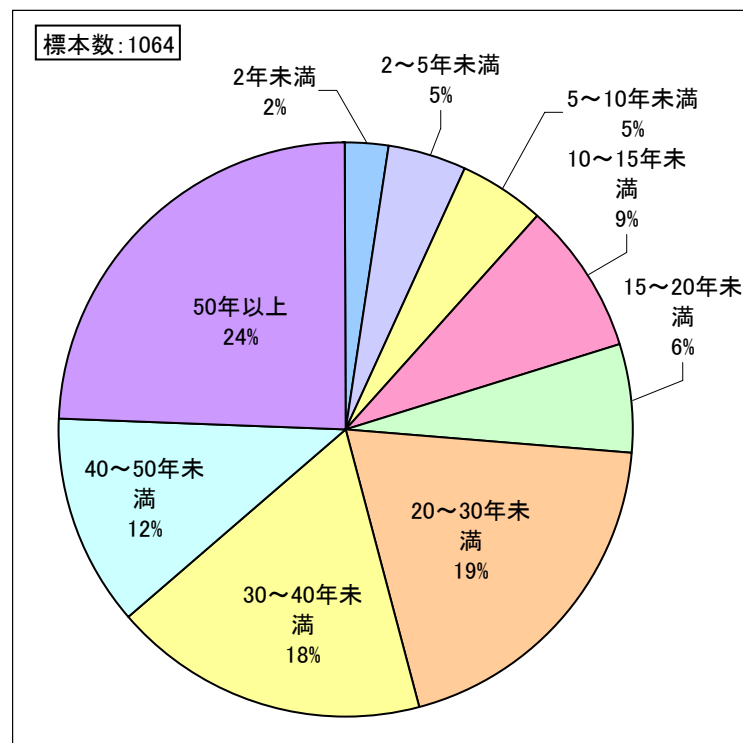


問4. 田畑を所有しておりますか。

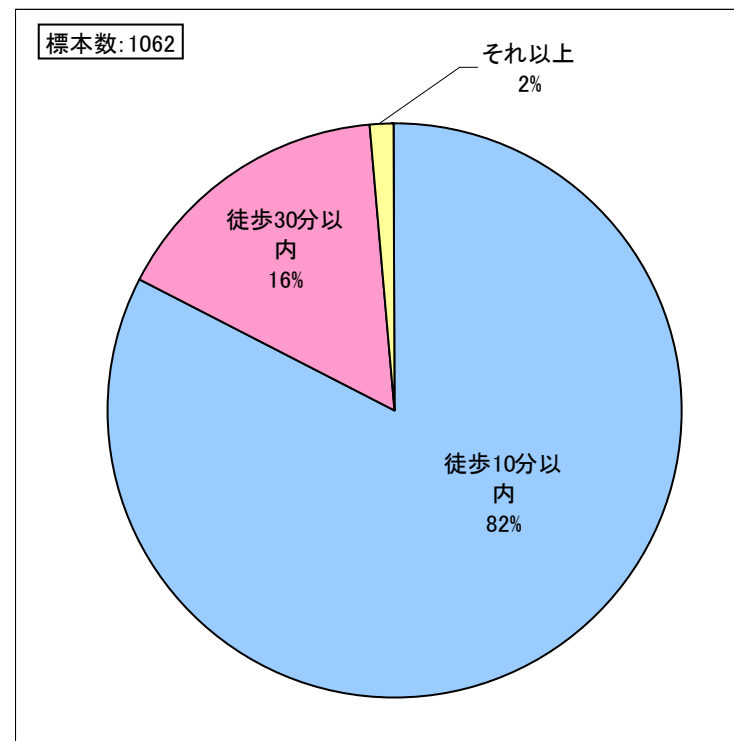


4. アンケート記入者の構成

問5. 現在地にお住まいになって何年になりますか。

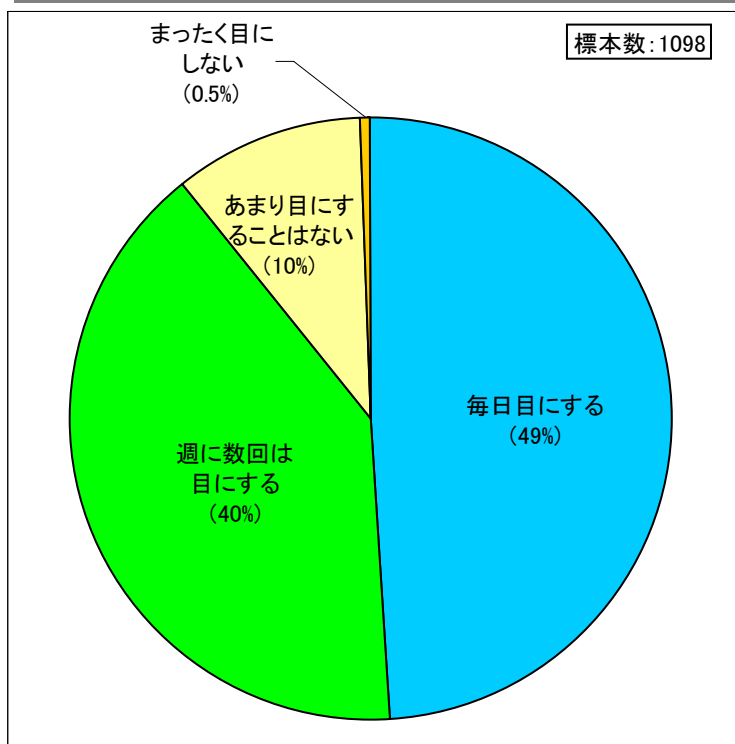


問6. お住まいから川までは、どれくらいの距離がありますか。

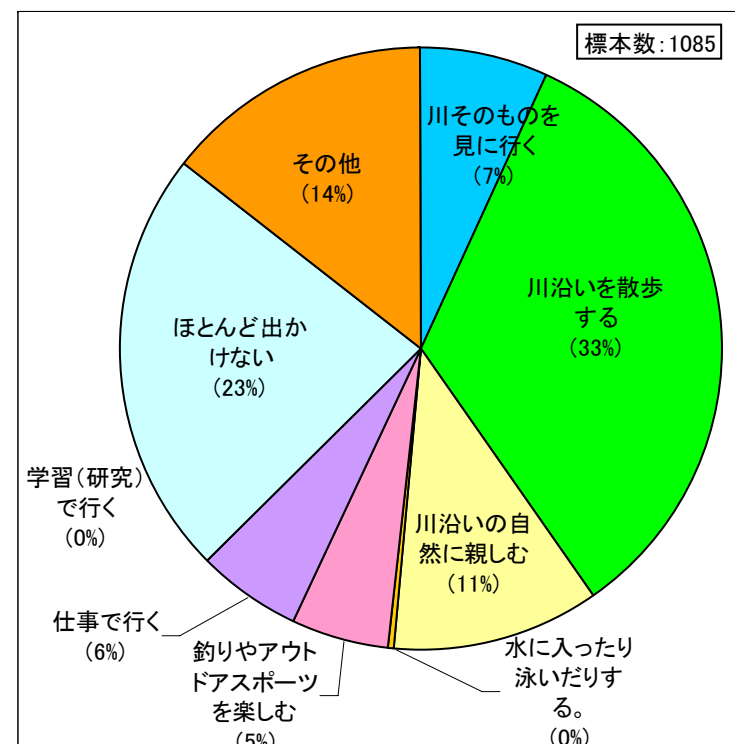


5. 川とのかかわりについて

問7. 普段の暮らしの中で、川をどれくらい目にするがありますか。



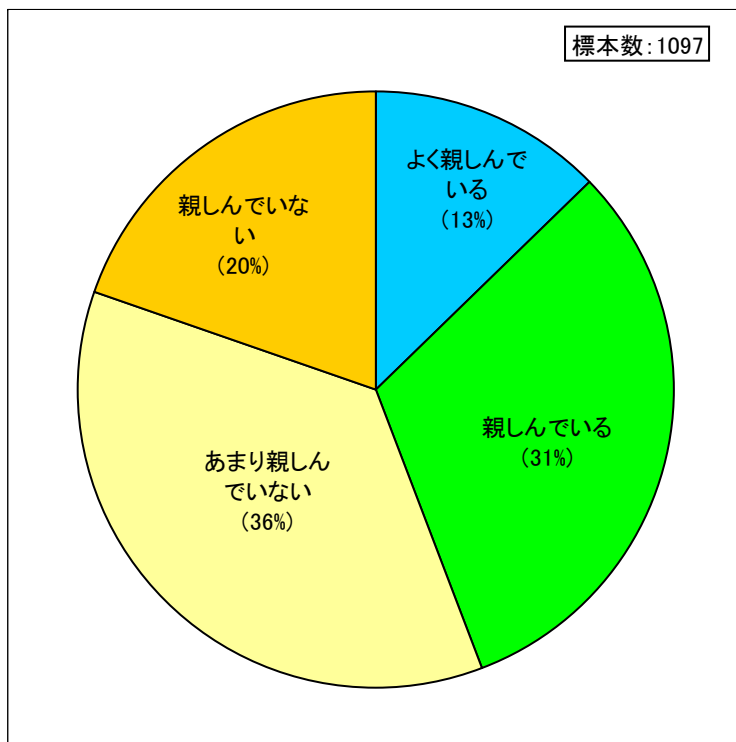
問8. 川にどんな目的をもって行きますか。



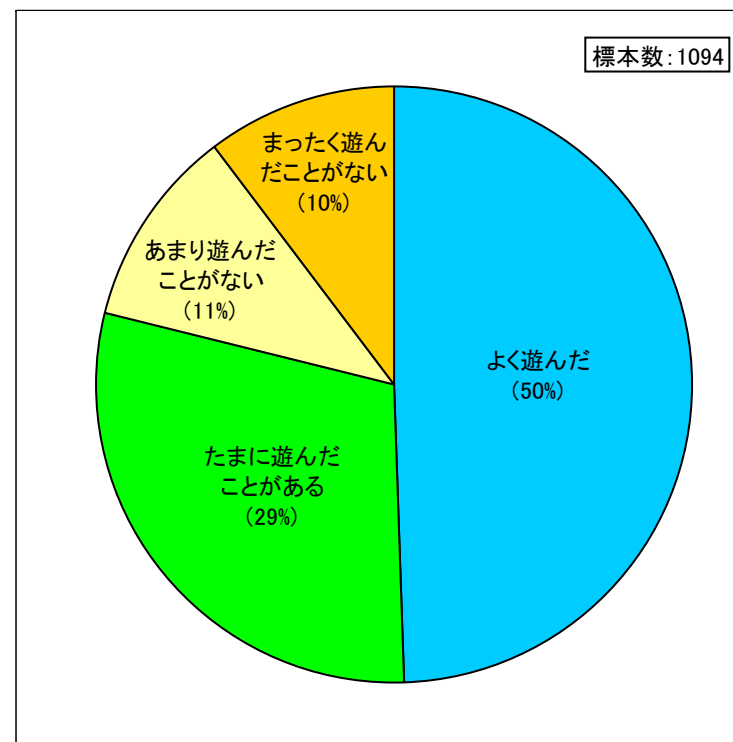
- ・普段から川を見る機会が「毎日」ある人は全体の約半数
- ・「週に数回」ある人の割合をあわせると全体の約90%
- ・川を訪れる目的は「散歩」が33%、「自然に親しむ」が11%

5. 川とのかかわりについて

問9. 普段、川に親しんでいる方
だと思いませんか。



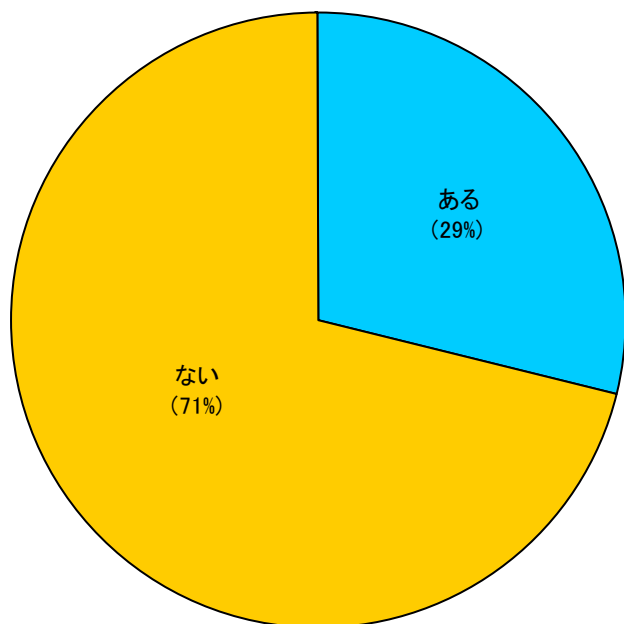
問10. 子供の頃、川で遊んだことが
ありますか。



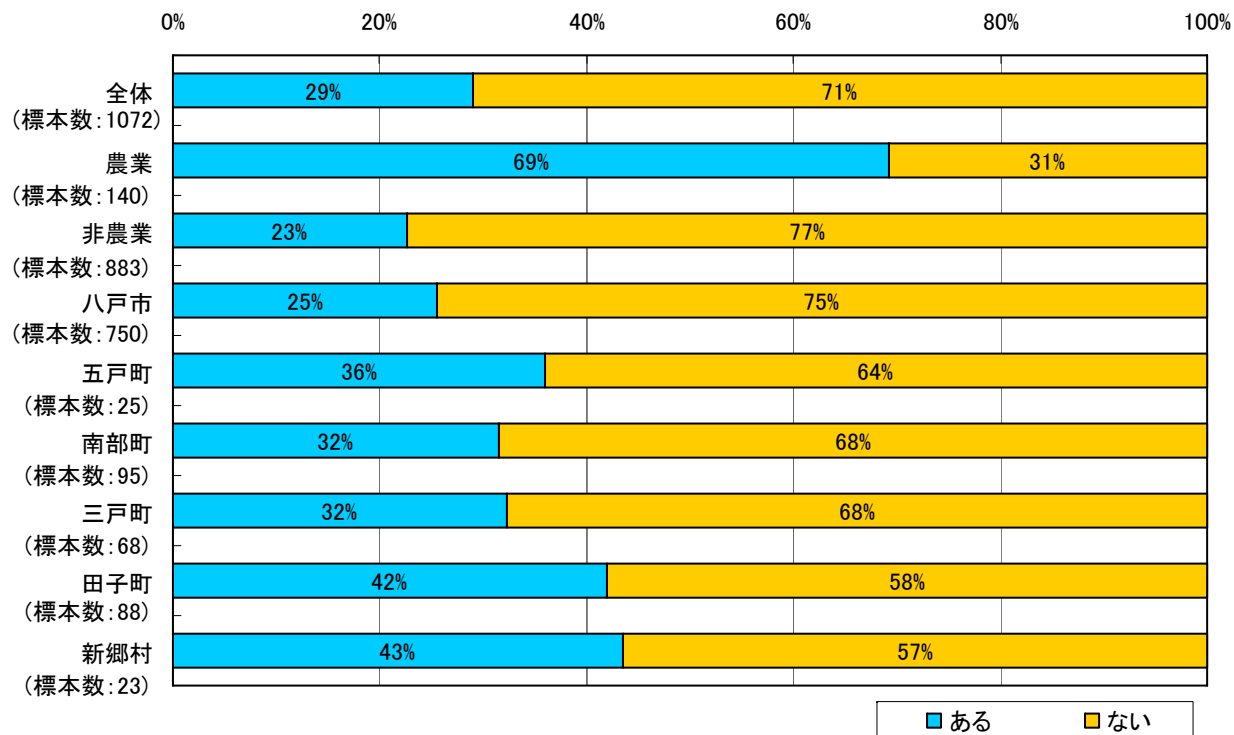
- ・「よく遊んでいる」「親しんでいる」が44%
- ・約半数の人が、子供の頃川で「よく遊んだ」と回答
川との結びつきが強い

5. 川とのかかわりについて

問11. これまで、田や畑の水がなくて苦労したことがありますか。



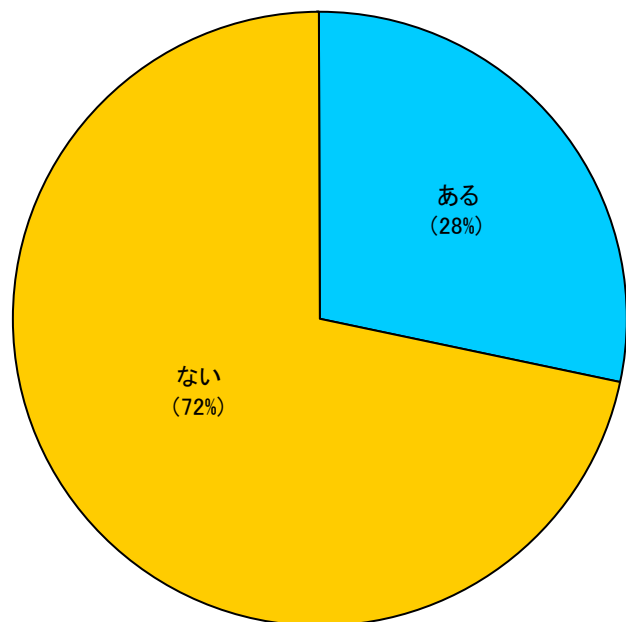
標本数: 1072



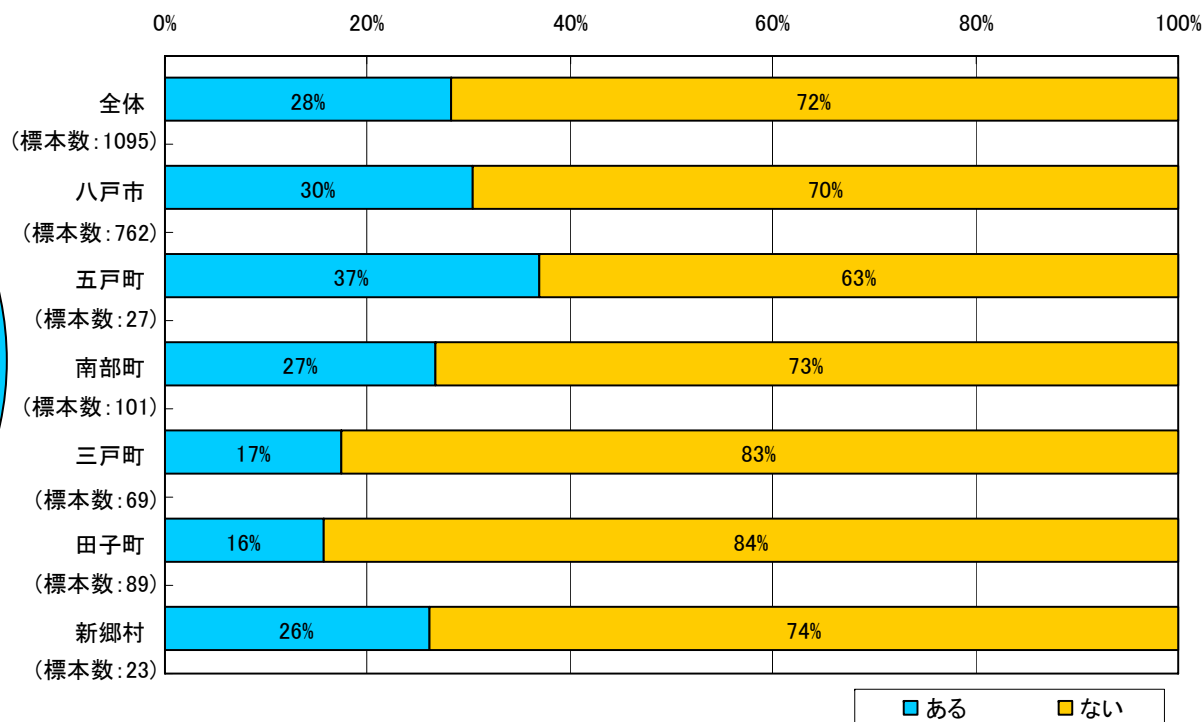
- ・田畑の水がなくて苦労したことがあると答えた人は全体の約30%
- ・農業従事者でみると約70%が(水がなくて)苦労したことがある

5. 川とのかかわりについて

問12. これまで、飲料水が不足して苦労したことがありますか。



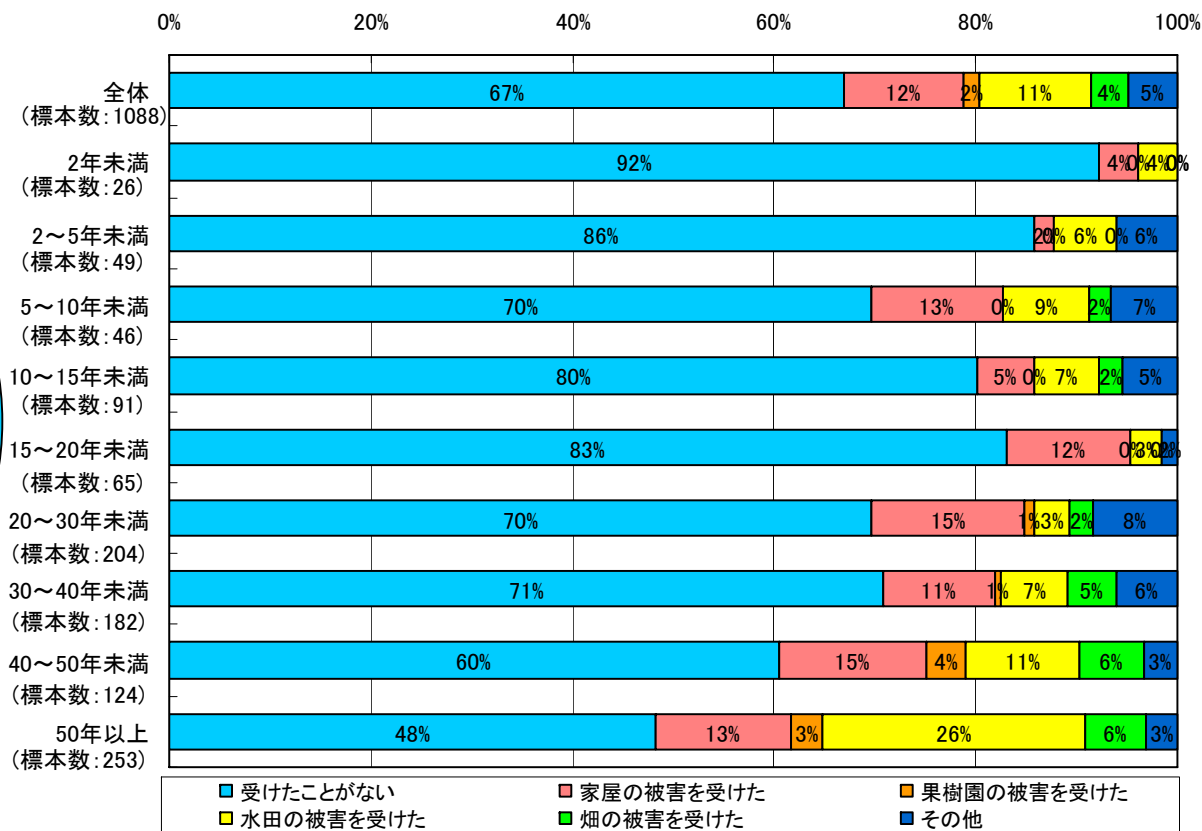
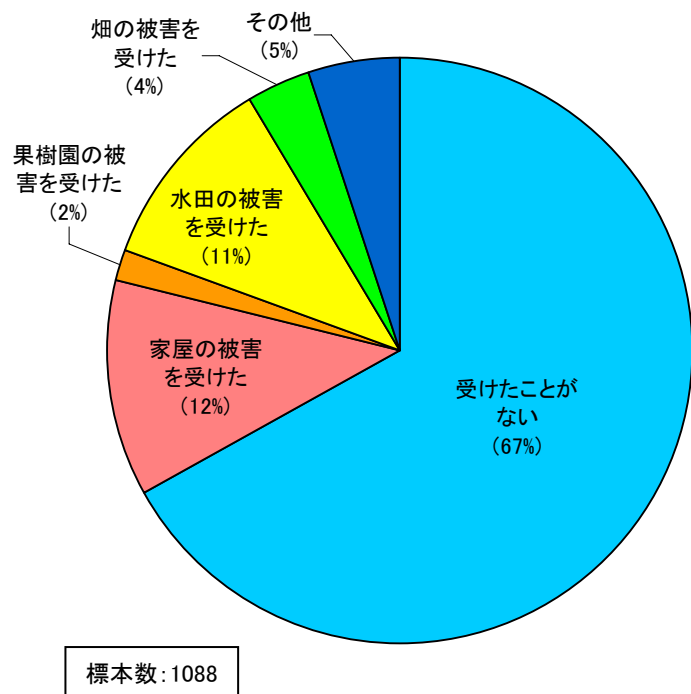
標本数:1095



水道水が不足して苦労した経験のある人は 農業用水と同程度で全体の約30%

5. 川とのかかわりについて

問13. これまで、洪水の被害を受けたことがありますか。

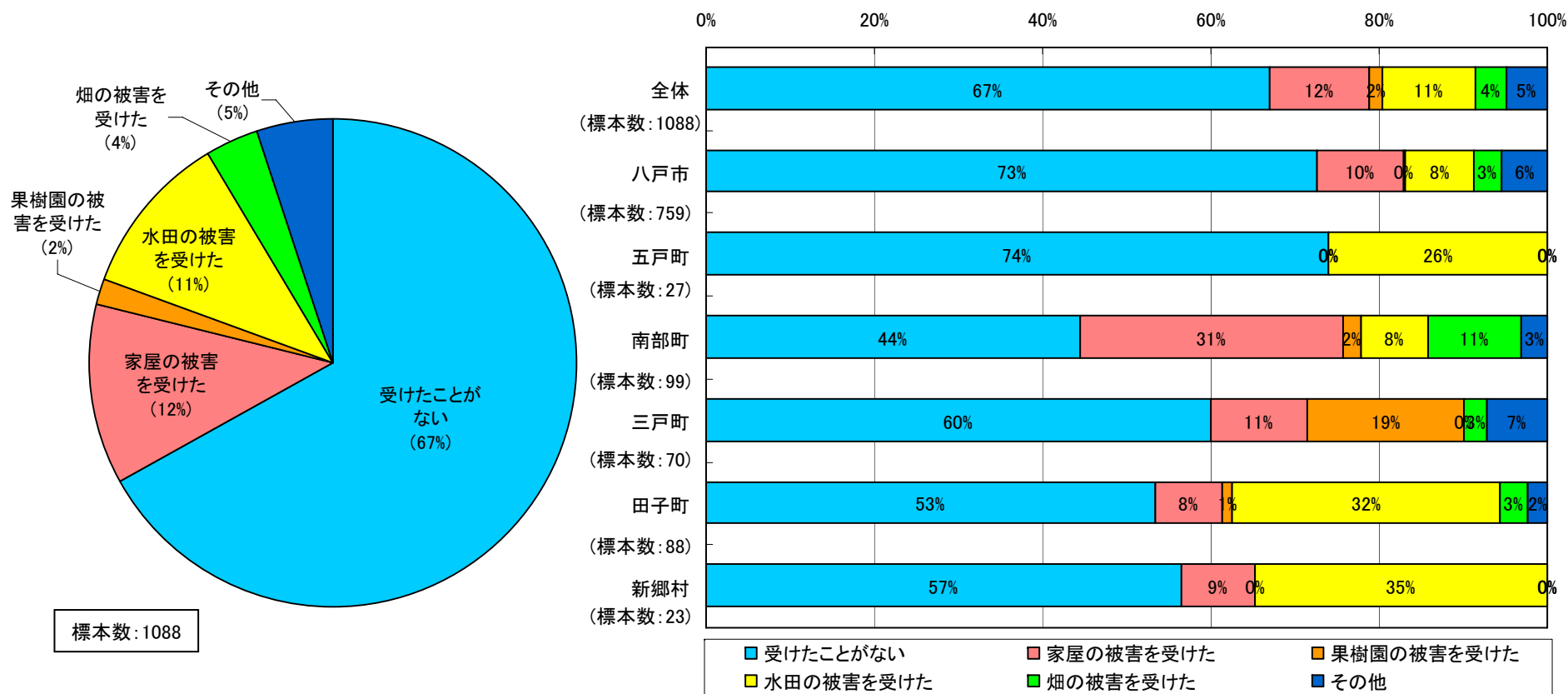


【洪水の被害の有無－居住年数別－】

- ・洪水被害の経験がある人の割合は全体の33%
- ・50年以上居住している人の半数以上が洪水被害があると回答
- ・記憶に残る洪水としては平成16年～19年に発生した洪水が多く挙げられている

5. 川とのかかわりについて

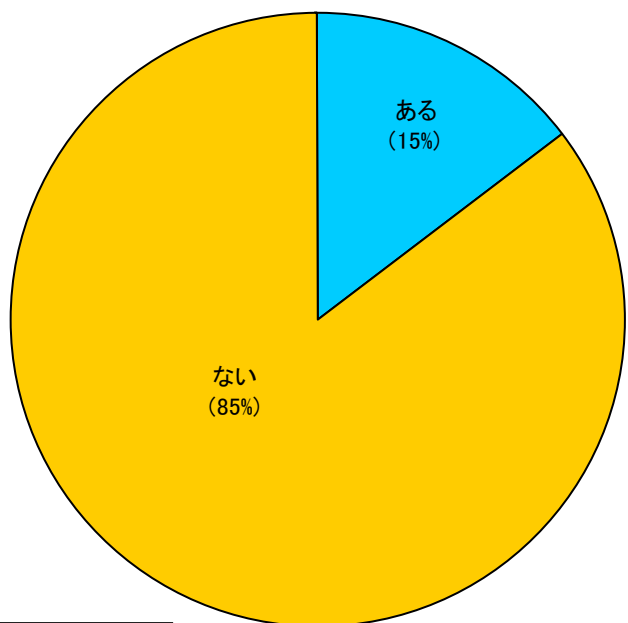
問13. これまで、洪水の被害を受けたことがありますか。



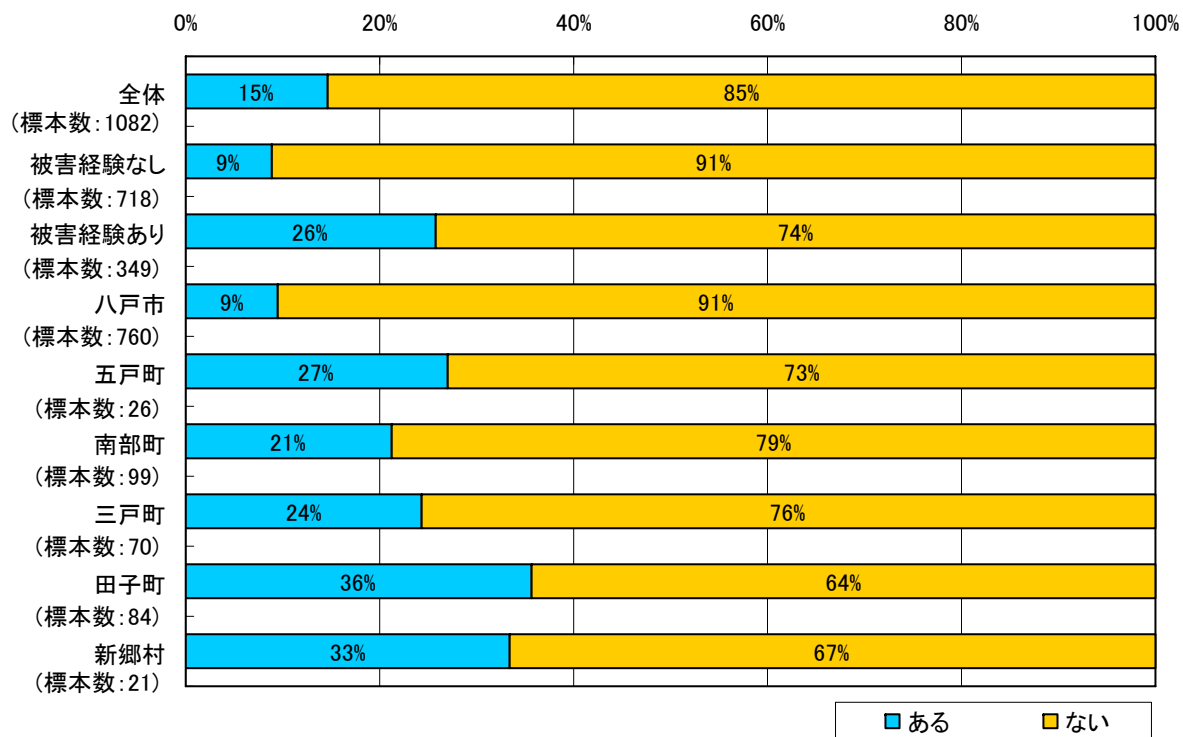
・南部町に居住している人の約30%、八戸市、三戸町に居住している人の約10%が洪水被害の経験があると回答

5. 川とのかかわりについて

問14. これまで、水防活動の経験がありますか。



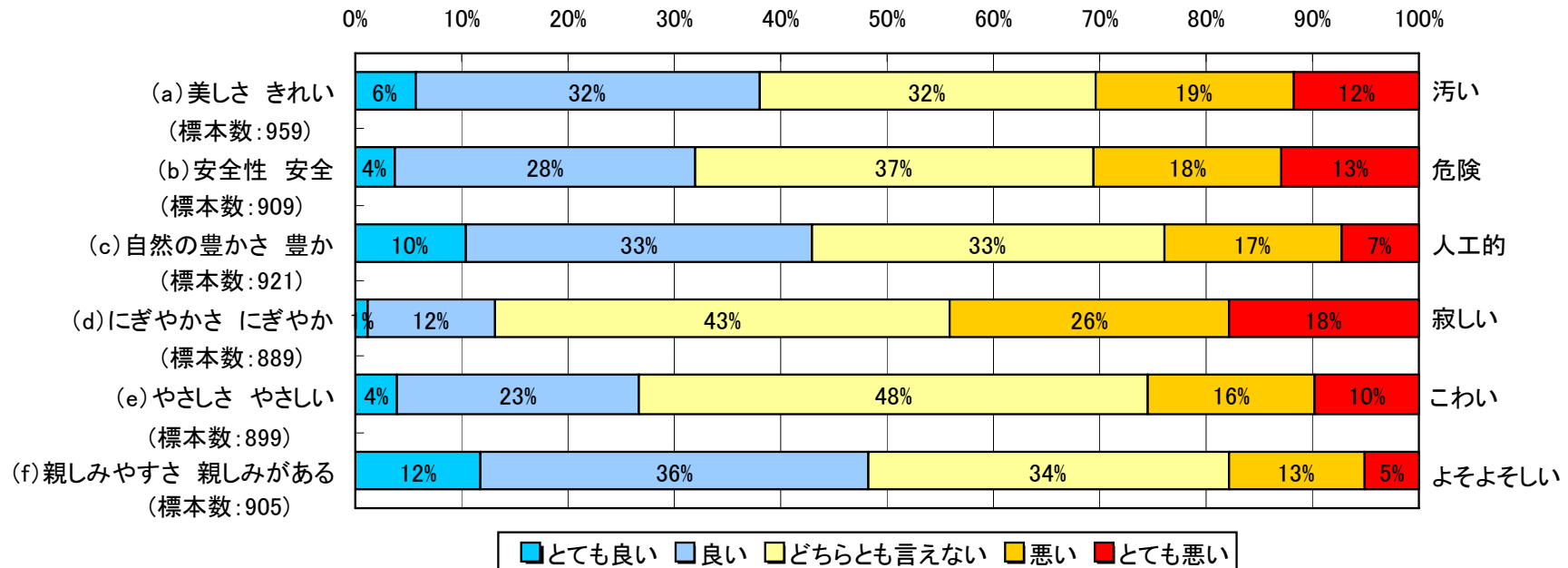
標本数: 1082



- ・水防活動を行った経験のある人の割合は全体の15%に留まっている。
- ・洪水被害経験がある人の中で、水防活動経験がある人の割合は26%
- ・洪水被害経験がない人でみると、水防活動経験がある人の割合は9%

6. 川のイメージについて

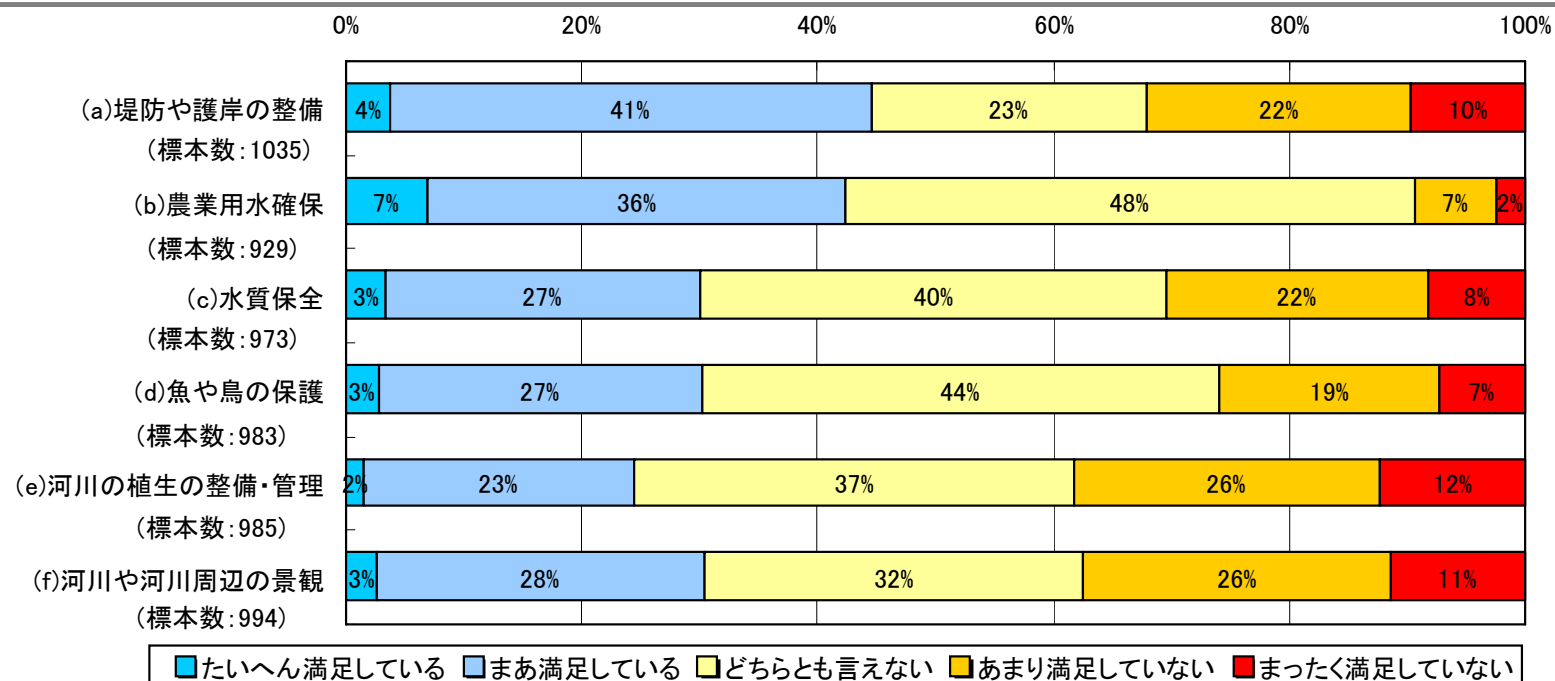
問15. 川について抱くイメージはどちらに近いですか。



- ・「美しさ」、「自然の豊かさ」、「親しみやすさ」は良いイメージの回答が悪いイメージの回答より多い傾向
- ・「安全性」は、良いイメージと悪いイメージが同程度
- ・「にぎやかさ」、「やさしさ」は、「どちらともいえない」（上図黄色）と回答した人が半数近い

7. 川への満足度について

問16. 選んだ川に関する次の点について、どの程度満足していますか。

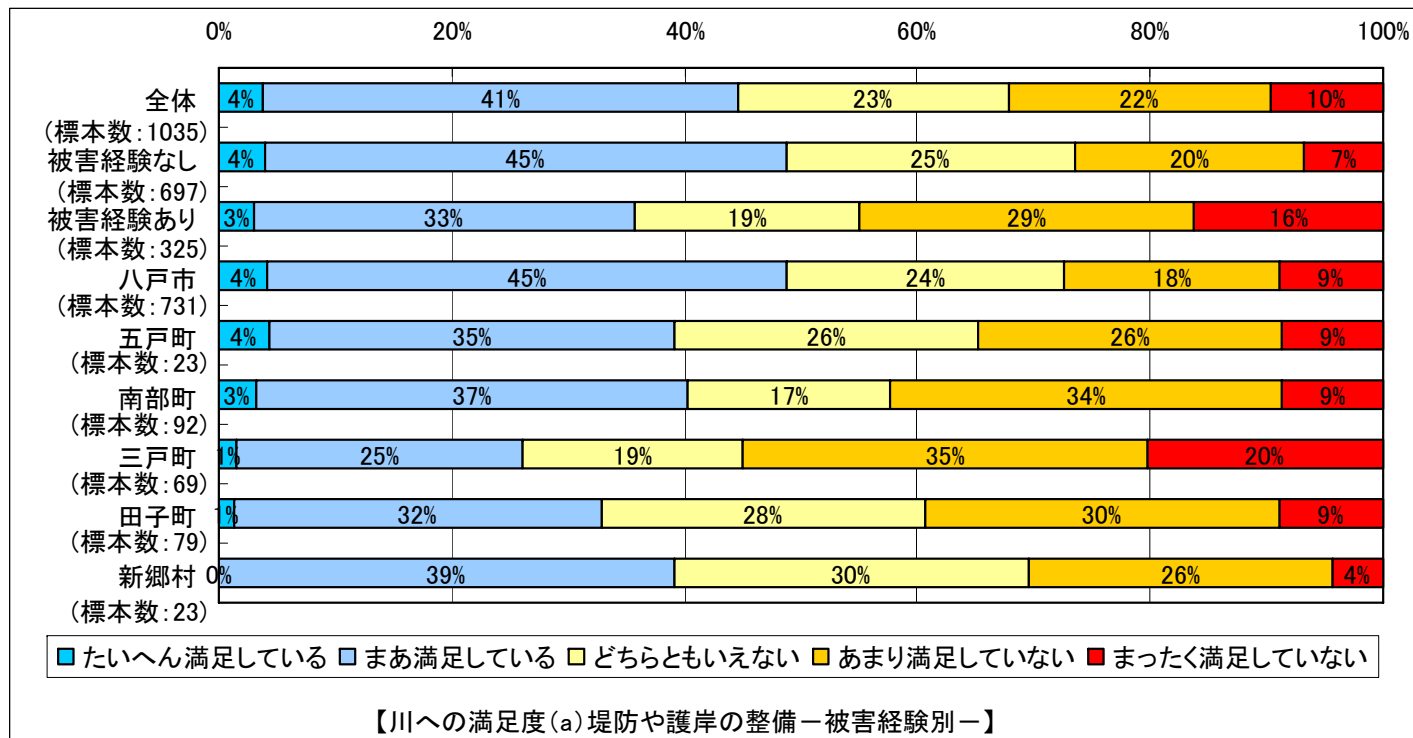


- ・「堤防・護岸整備」に対して「満足していない」人の割合が全体の32%（満足している人は45%）
- ・「農業用水確保」に「満足していない」人の割合は全体の9%
- ・「水質保全」、「魚や鳥の保護」については、「どちらともいえない」と回答した人の割合が最も大きい
- ・「植生」「景観」に対して「満足していない」人の割合が比較的大きい

7. 川への満足度について

問16. 選んだ川に関する次の点について、どの程度満足していますか。

(a) 堤防や護岸の整備

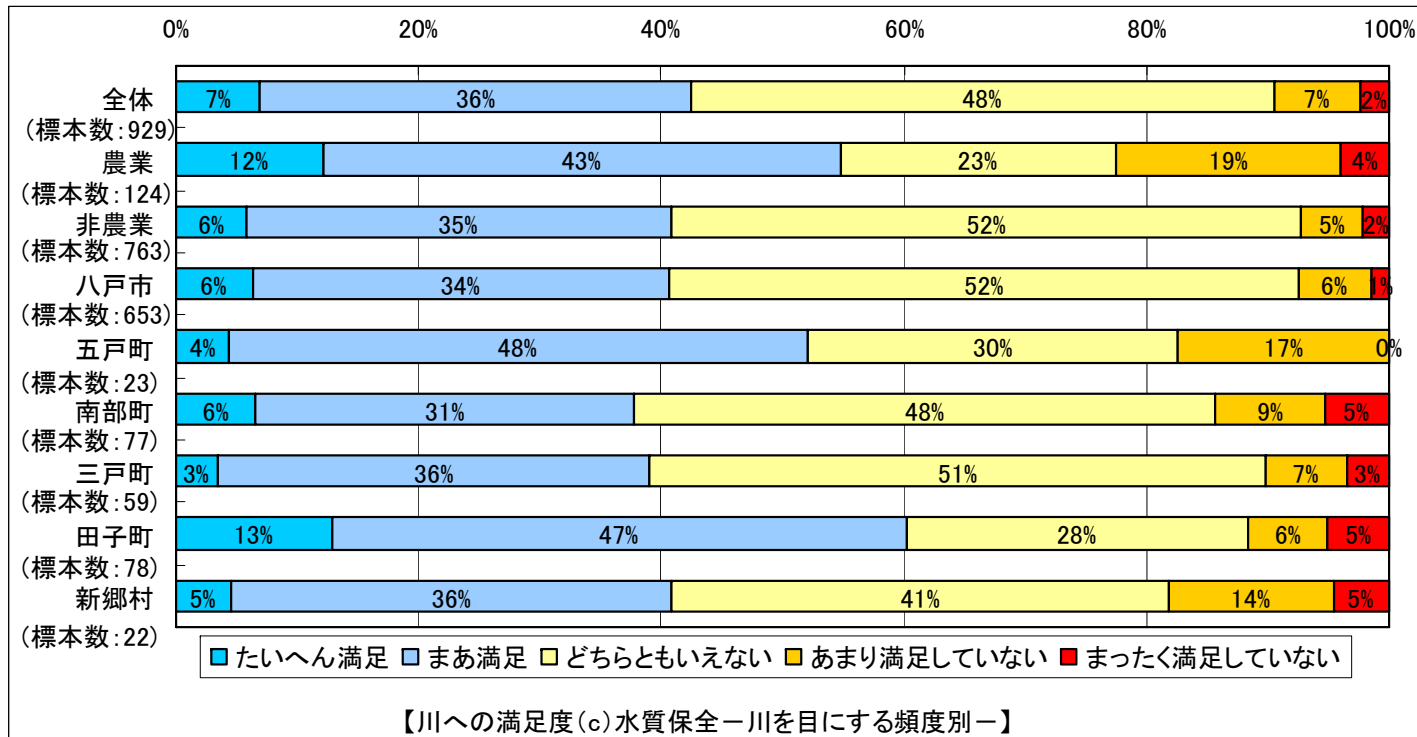


洪水被害経験のある人の中では、「満足していない」と感じている人の割合が45%で、「満足している」と感じている人(36%)よりも大きい

7. 川への満足度について

問16. 選んだ川に関する次の点について、どの程度満足していますか。

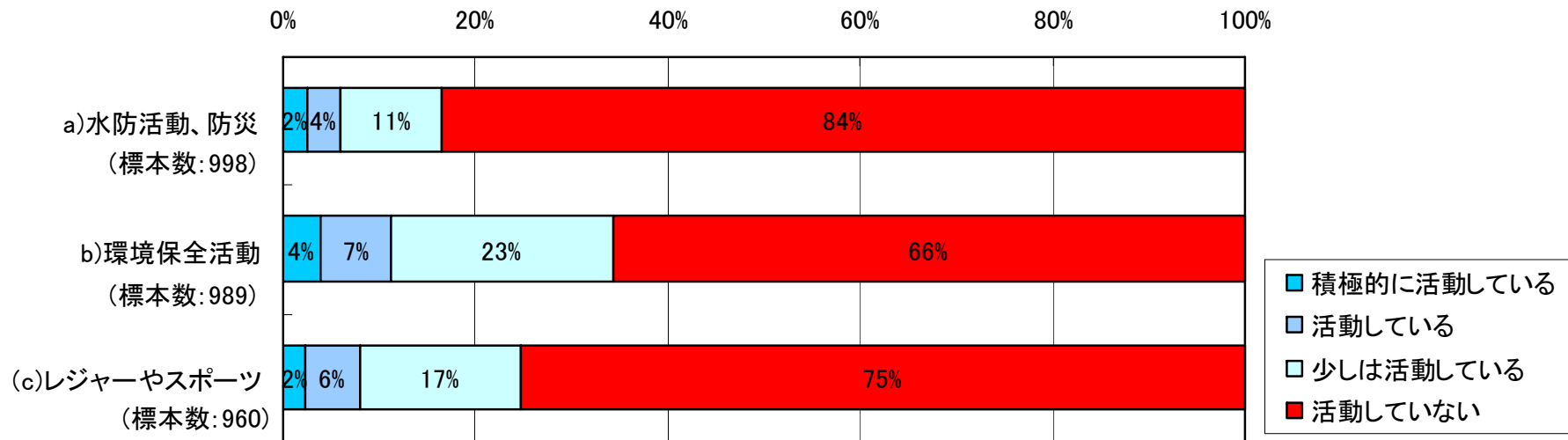
(b) 農業用水確保



職業別に見ると、農業者で「満足している」と回答した人は55%で、全体の割合よりも大きくなっているが、「満足していない」と回答した人についても23%となった

8. 川と地域住民の関わりについて

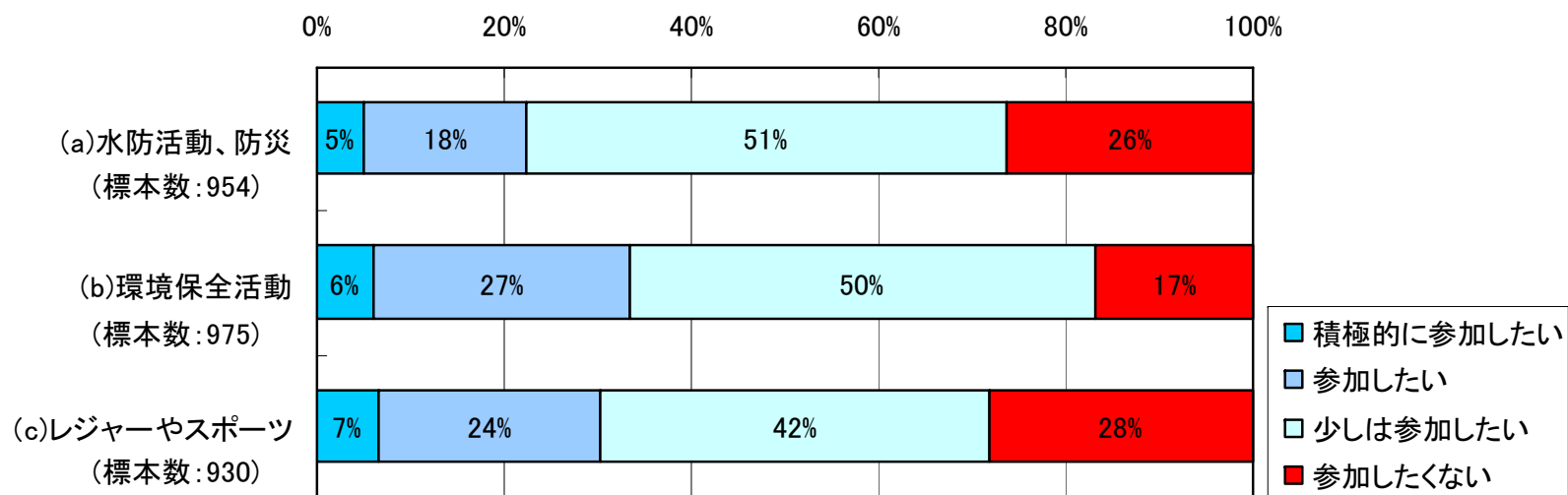
問17. 普段、川でどのような活動をしていますか。



- ・「水防活動・防災」に関する活動に対して「積極的に活動している」、「活動している」、「少しは活動している」と回答した人の割合の合計が全体の16%
- ・「環境保全活動」に「積極的に活動している」、「活動している」、「少しは活動している」と回答した人の割合の合計が全体の34%
- ・「レジャーやスポーツ」に「積極的に活動している」、「活動している」、「少しは活動している」と回答した人の割合の合計が全体の25%

8. 川と地域住民の関わりについて

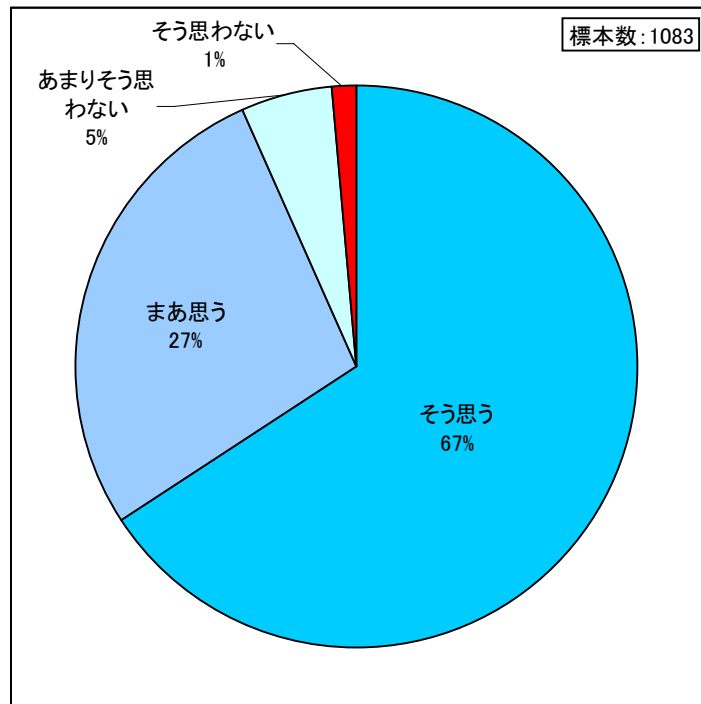
問18. 今後、どのような活動に参加したいとお考えですか。



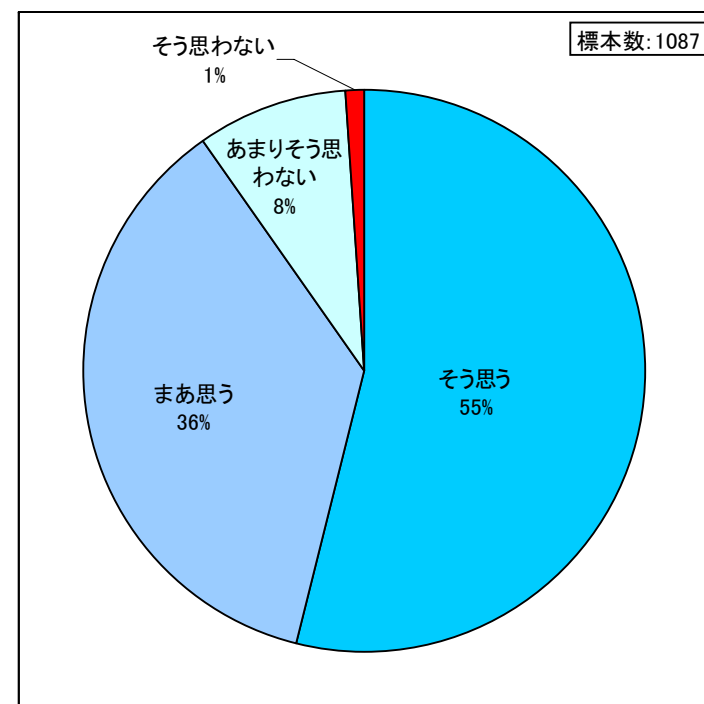
- ・「水防活動・防災」に関する活動に対して「積極的に参加したい」、「参加したい」、「少しは参加したい」と回答した人の割合の合計が全体の74%と住民の参加意識は比較的高い
- ・「環境保全活動」に「積極的に参加したい」、「参加したい」、「少しは参加したい」と回答した人の割合の合計が全体の83%
- ・「レジャーやスポーツ」に「積極的に参加したい」、「参加したい」、「少しは参加したい」と回答した人の割合の合計が全体の72%

8. 川と地域住民の関わりについて

問19. 川の治水・利水・環境を改善するために、上流から下流の住民まで協力してとりくむべきだと思いますか。



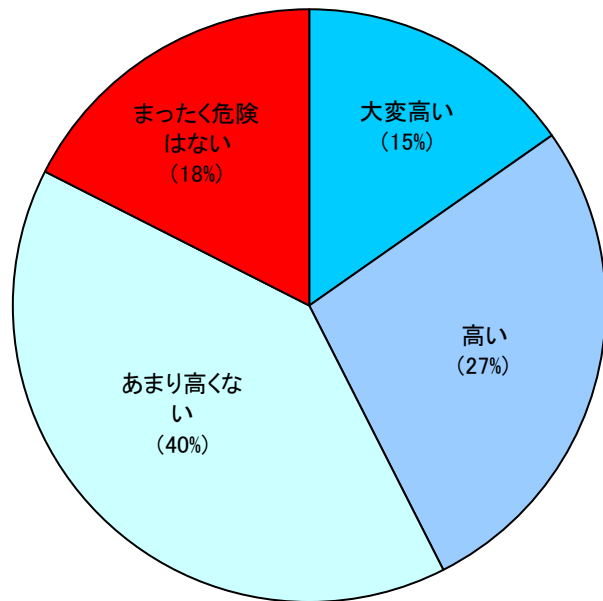
問20. 川の治水・利水・環境を改善するために、行政だけではなく、流域住民も積極的に活動すべきだと思いますか。



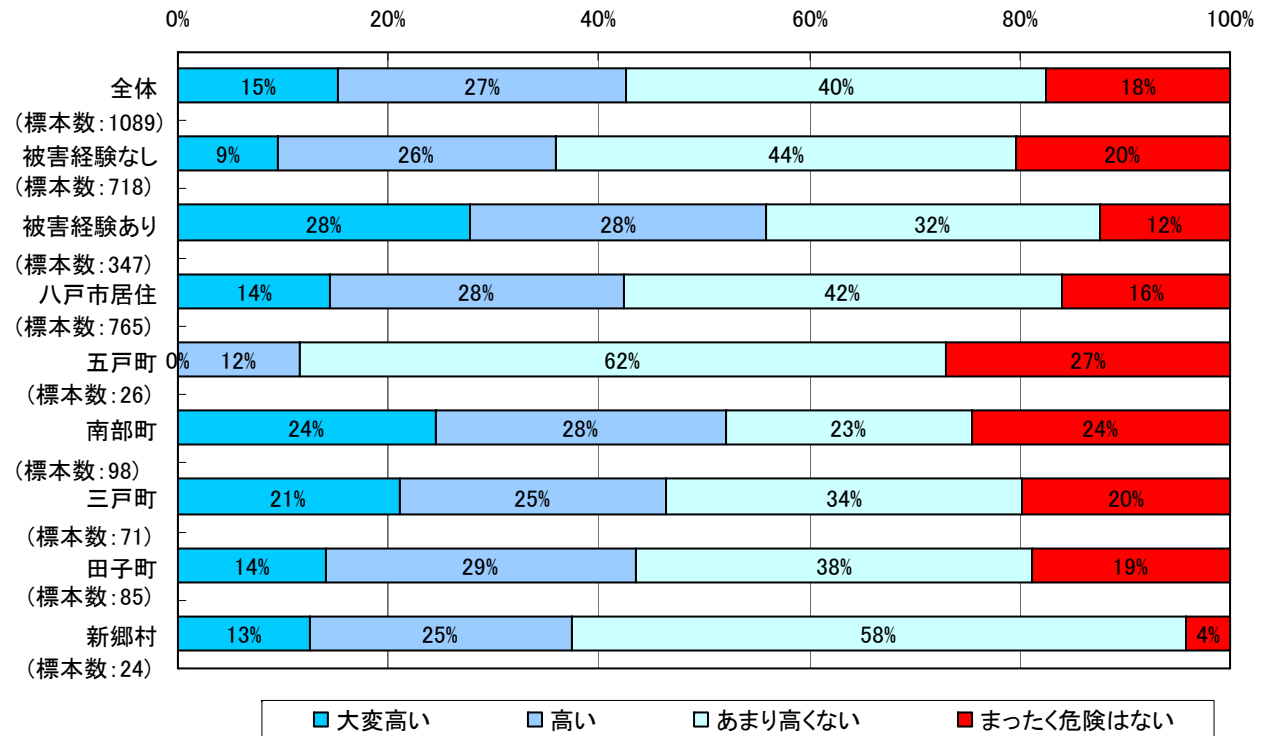
- ・治水、利水、環境の改善に向けて、上流から下流の住民までが協力してとりくむべきと考える人は、全体の90%以上
- ・行政だけでなく、流域住民も積極的に活動すべきと考える人の割合は90%以上

8. 川と地域住民の関わりについて

問21. 現在お住まいの場所は、水害が起こる危険がありますか。



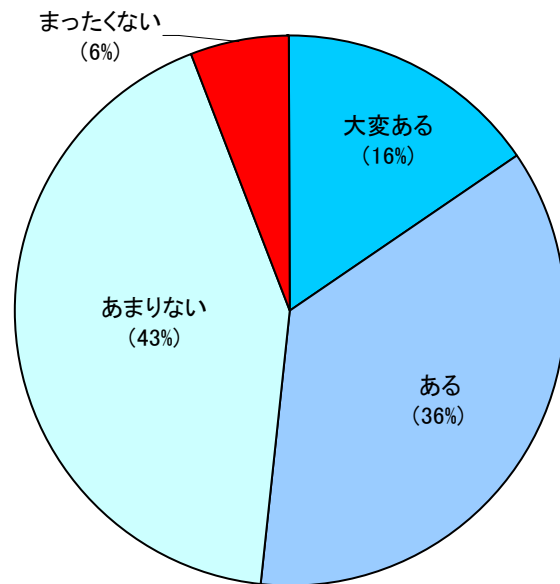
標本数: 1089



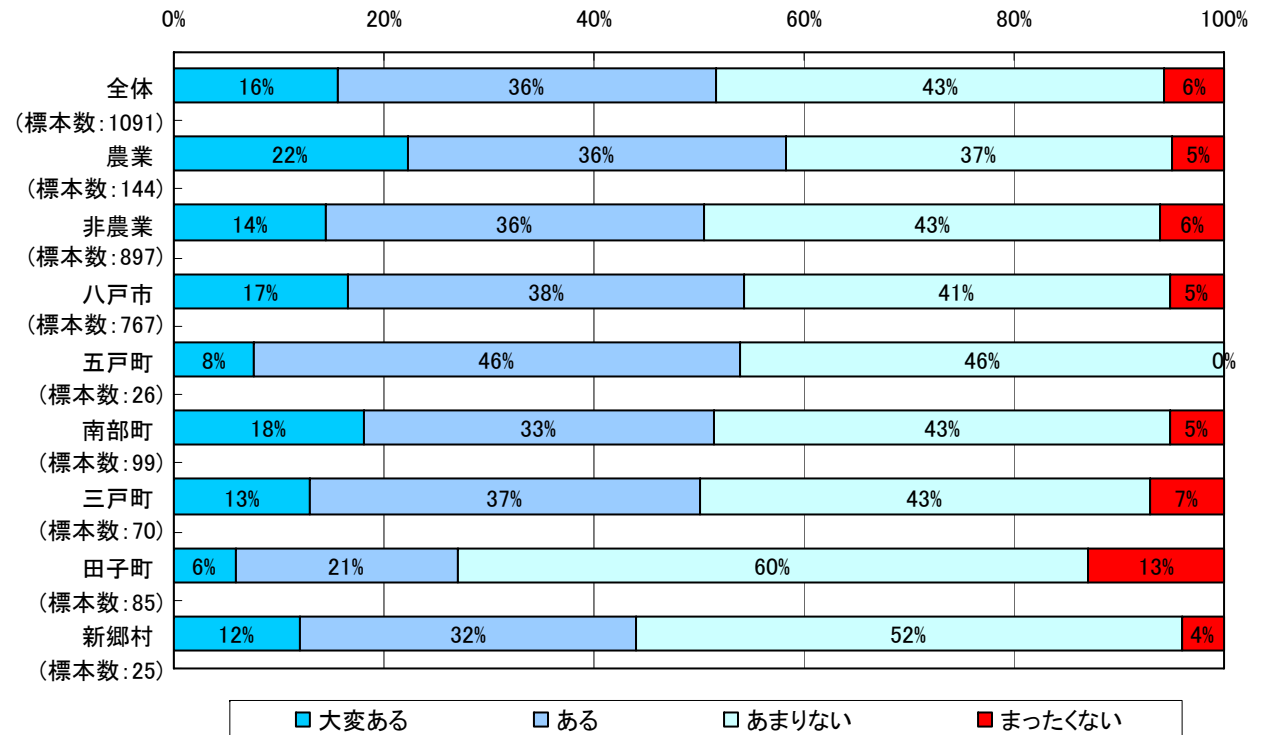
- ・全体の約40%が水害の危険性が高いと回答している
- ・洪水被害経験のない人の意識が比較的低い
- ・居住地別で見ると、馬淵川中流部の南部町、三戸町で、「危険性が高い」と感じている人の割合が他の市町村よりも多い

8. 川と地域住民の関わりについて

問22. 今後、水不足によって農業用水や飲料水などに対する不安がありますか。



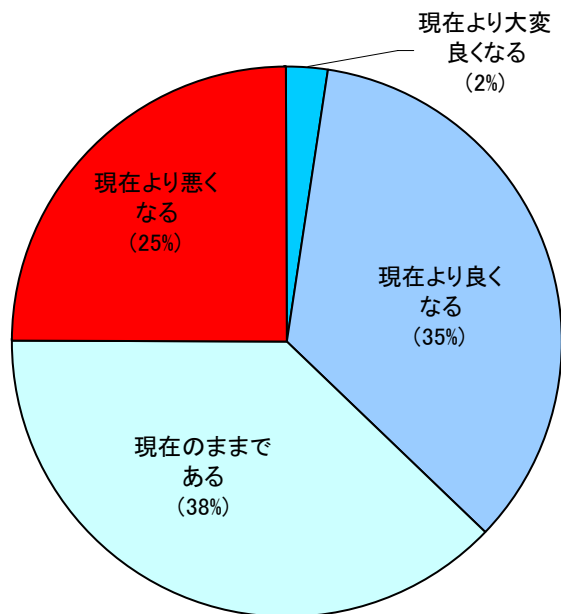
標本数:1091



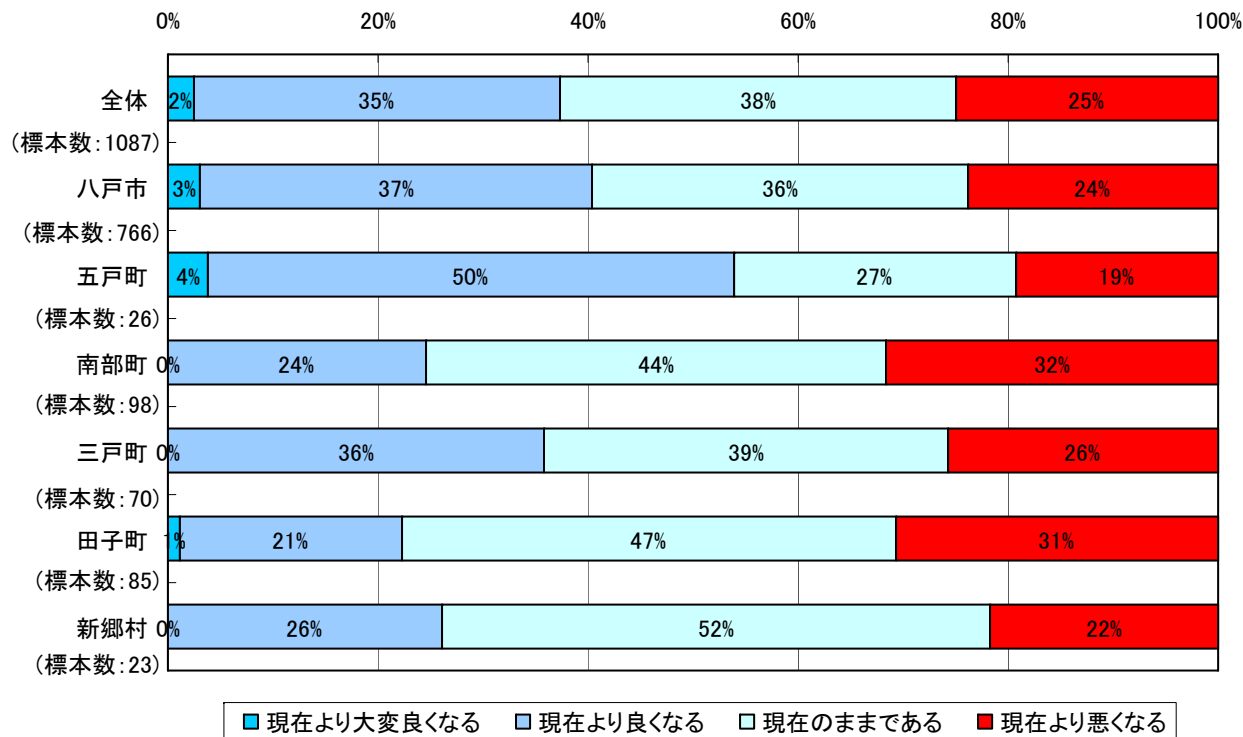
- ・全体の約52%が今後、水不足に対する不安を持っている
- ・農業従事者で見ると、その割合は大きい。

8. 川と地域住民の関わりについて

問23. 今後、河川の自然環境や景観はどうなると思いますか。



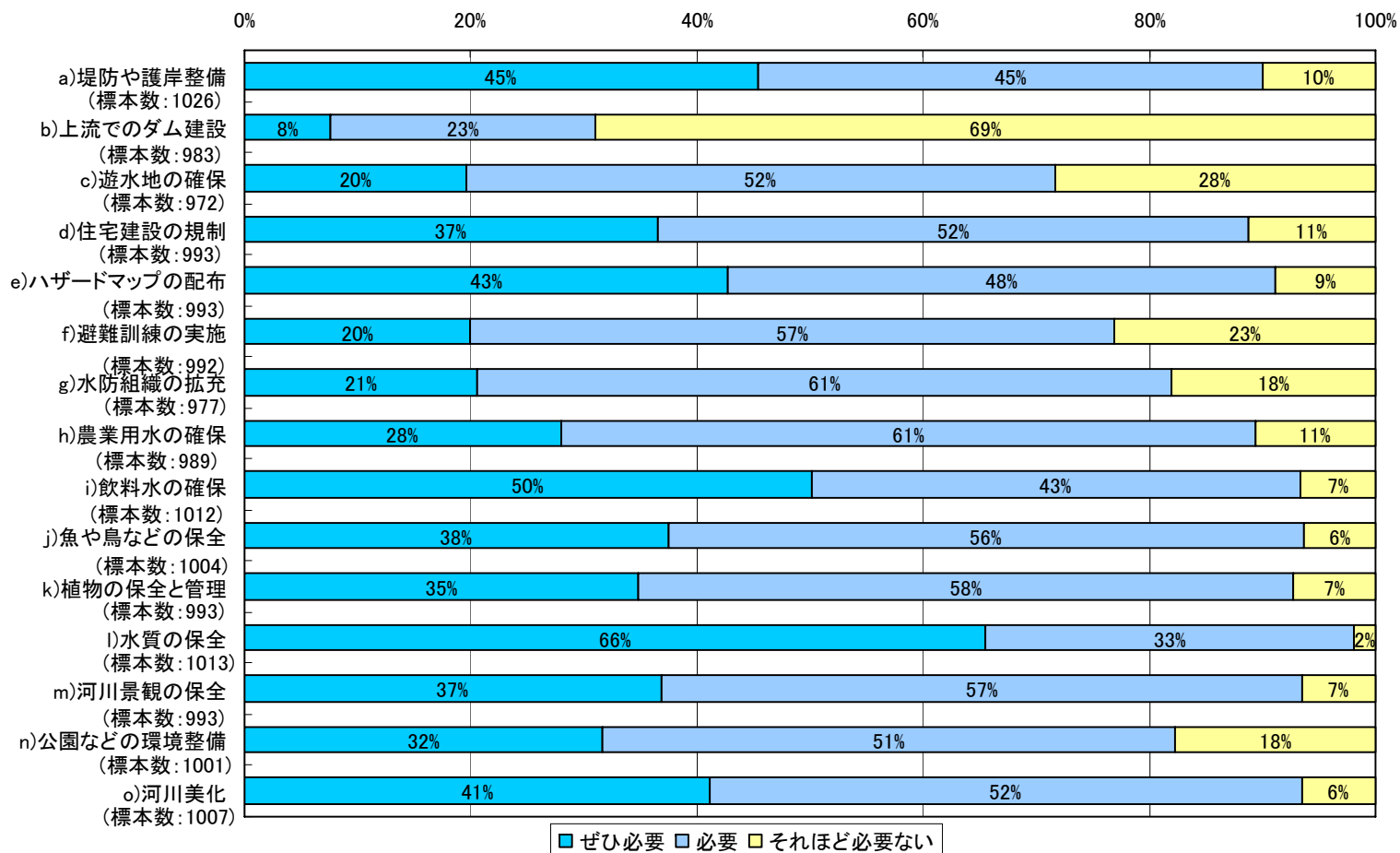
標本数:1087



河川の自然環境や景観について、今後悪くなると感じている人は全体の25%

9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

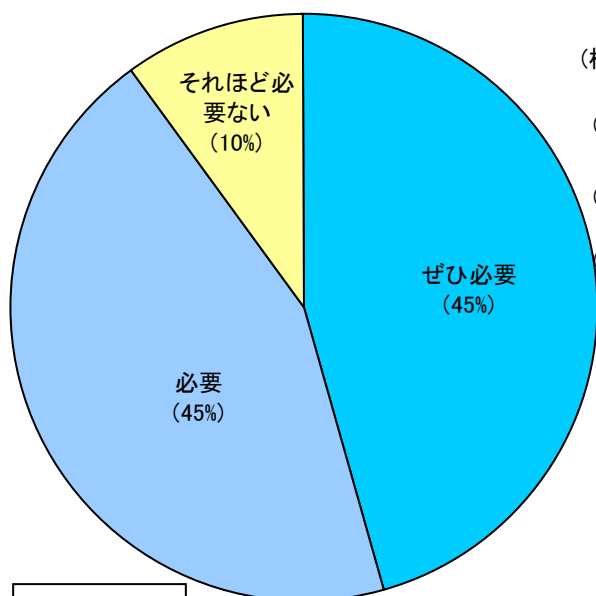


・河川整備の各項目について「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合が全体の約80%～90%

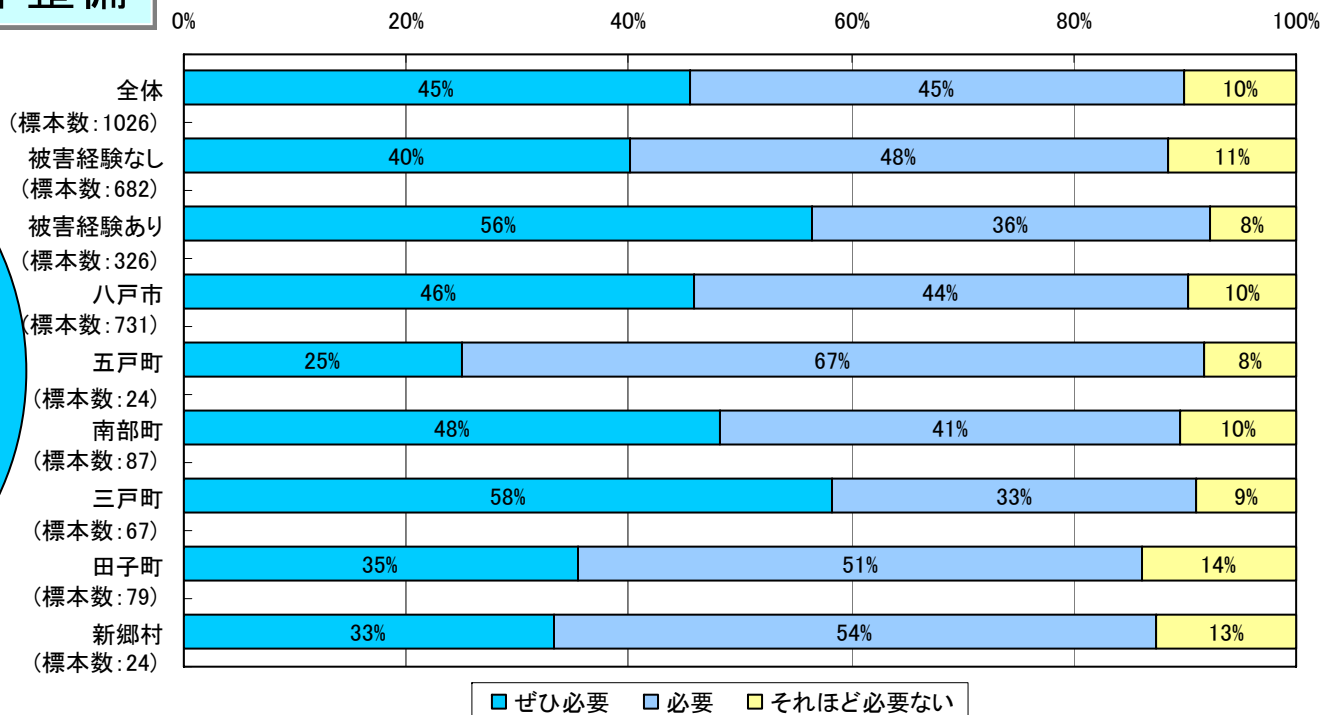
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(a) 河川の堤防や護岸整備



標本数: 1026



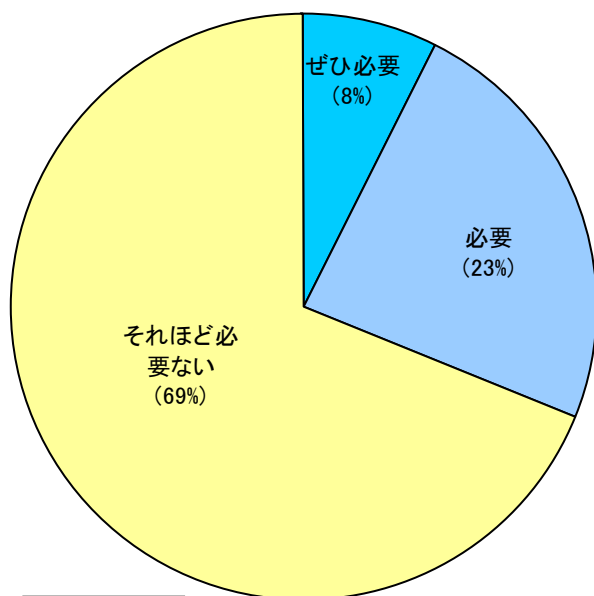
【洪水対策の必要性(a)河川の堤防や護岸整備－洪水被害経験の有無,居住地別－】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると全体の約90%
- ・洪水被害経験者でみると「ぜひ必要」の回答だけで半数以上
- ・居住市町村別にみると、馬淵川が流下している八戸市、南部町、三戸町で「ぜひ必要」と回答した割合が他の町村より比較的大きい

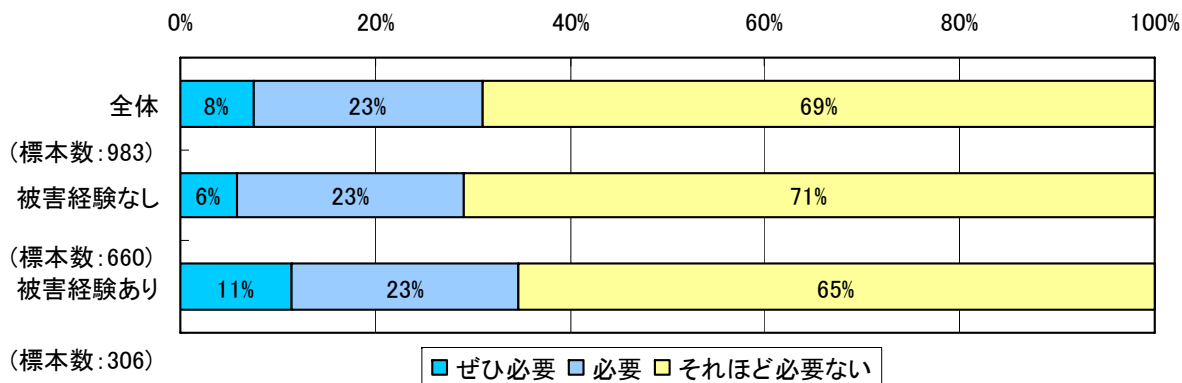
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(b) 上流でのダム建設



標本数: 983



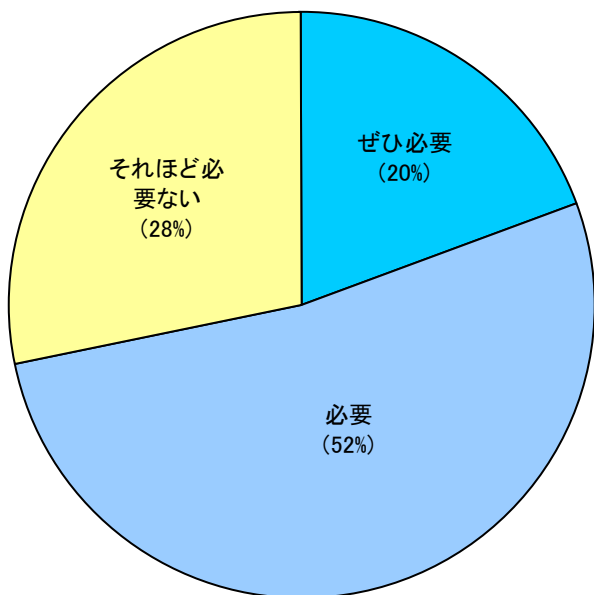
【洪水対策の必要性(b)上流でのダム建設－洪水被害経験の有無別－】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答している人の割合をあわせて全体の約30%。
約70%の人が「それほど必要ない」と回答
- ・洪水被害経験者についても、65%が「それほど必要ない」と回答

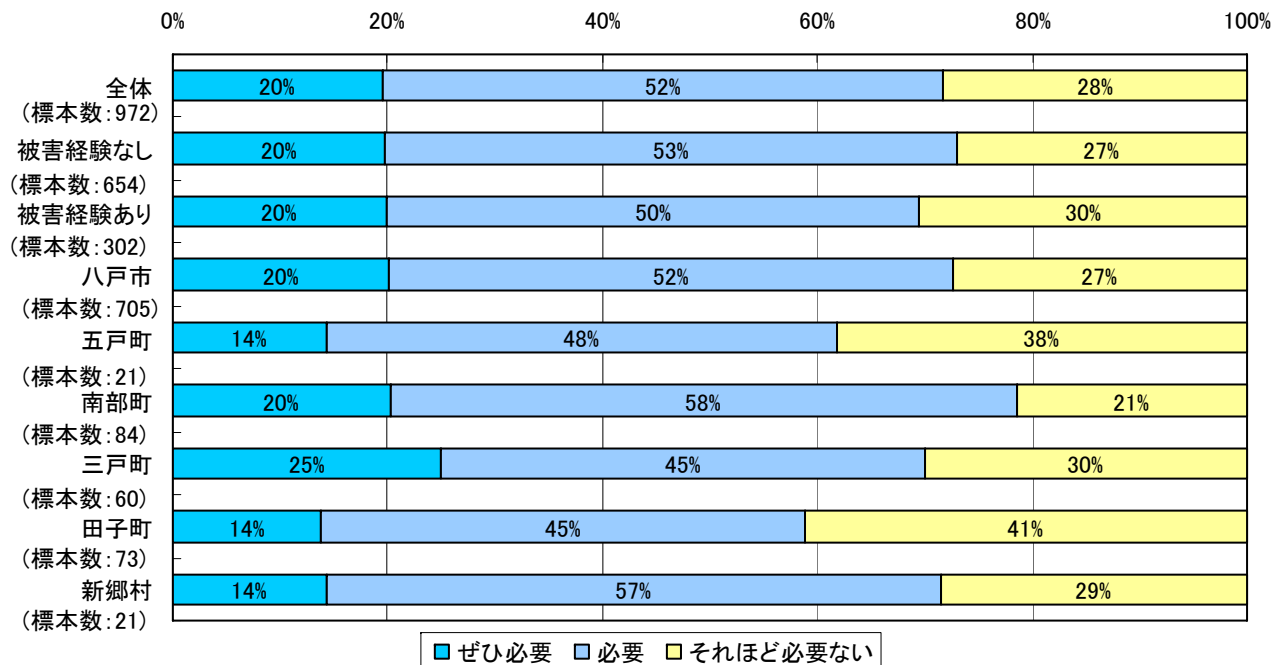
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(c) 遊水地の確保



標本数: 972



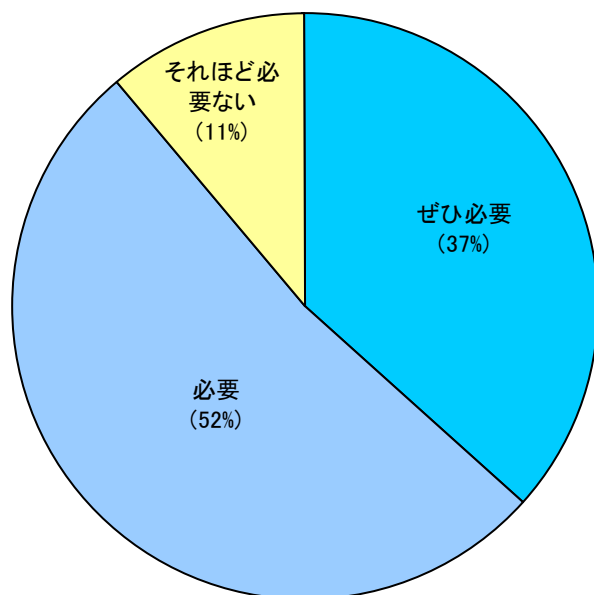
【洪水対策の必要性(c)遊水地確保堤—洪水被害経験の有無別—】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると約70%
- ・洪水被害経験の有無で明確な意識の差はみられない
- ・居住市町村別にみると、馬淵川が流下している八戸市、南部町、三戸町で「ぜひ必要」と回答した割合が他の町村より比較的大きい

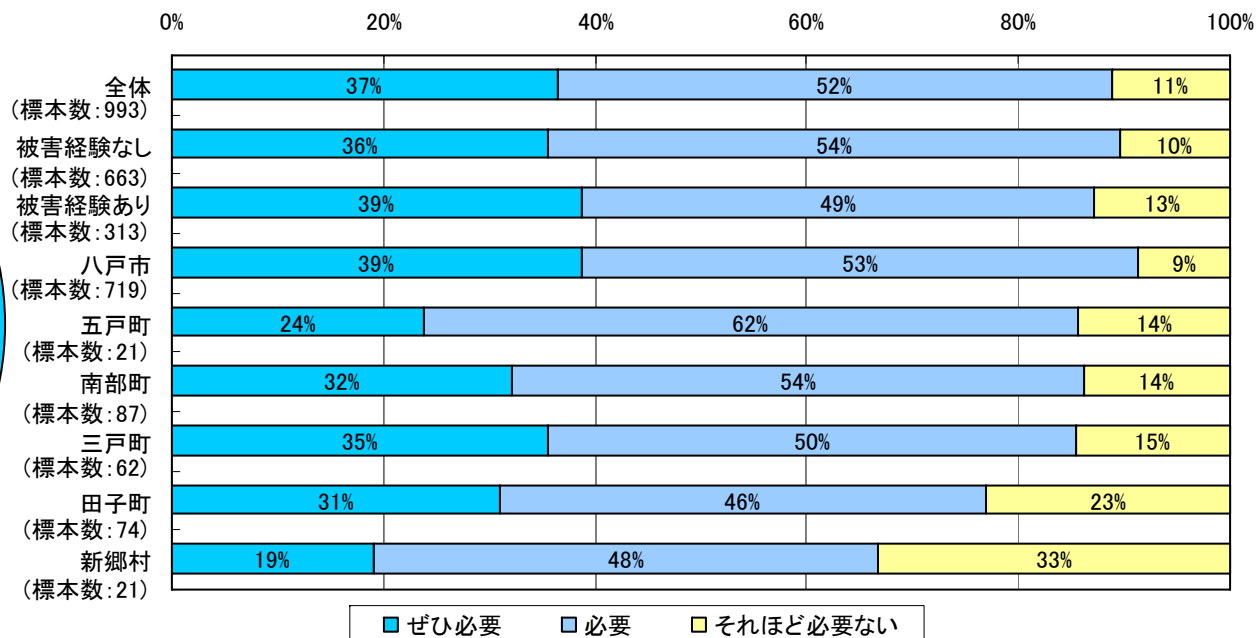
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(d) 氾濫危険地域への住宅建設の規制



標本数: 993



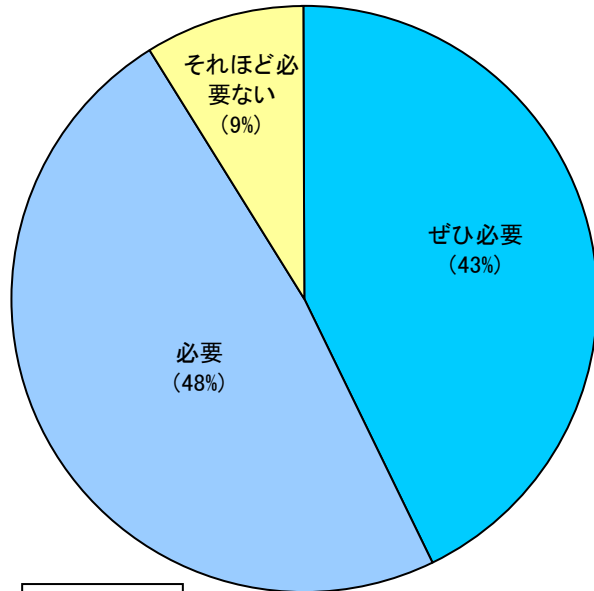
【洪水対策の必要性(d) 氾濫危険地域への住宅建設の規制－洪水被害経験の有無別－】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると約90%
- ・洪水被害経験の有無で明確な意識の差はみられない
- ・居住市町村別にみると、馬淵川が流下している八戸市、南部町、三戸町で「ぜひ必要」と回答した割合が他の町村より比較的大きい

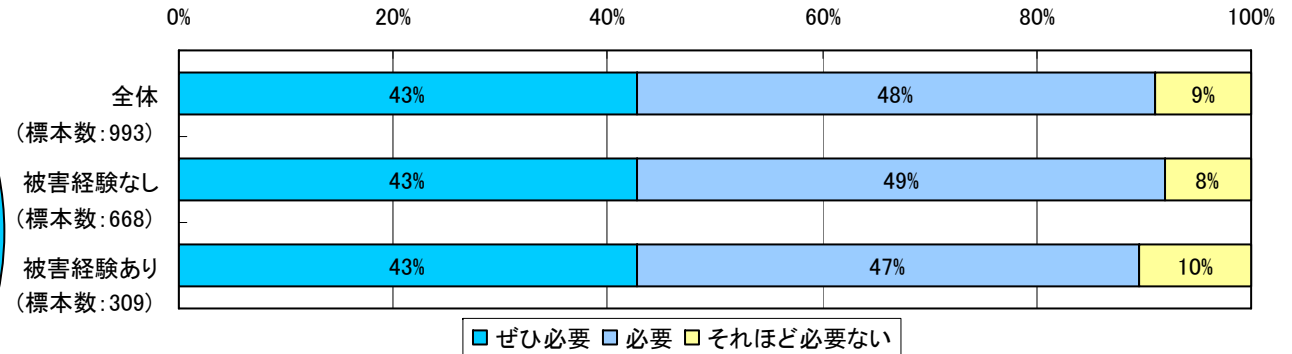
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(e) 洪水氾濫予測の地図(ハザードマップ)の配布



標本数: 993



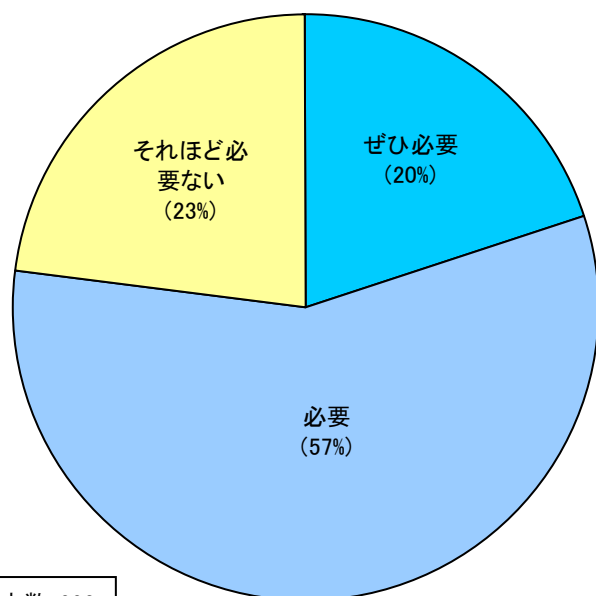
【洪水対策の必要性(e)洪水氾濫予測の地図(ハザードマップ)の配布－洪水被害経験の有無別－】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると約90%
- ・洪水被害経験の有無で明確な意識の差はみられない

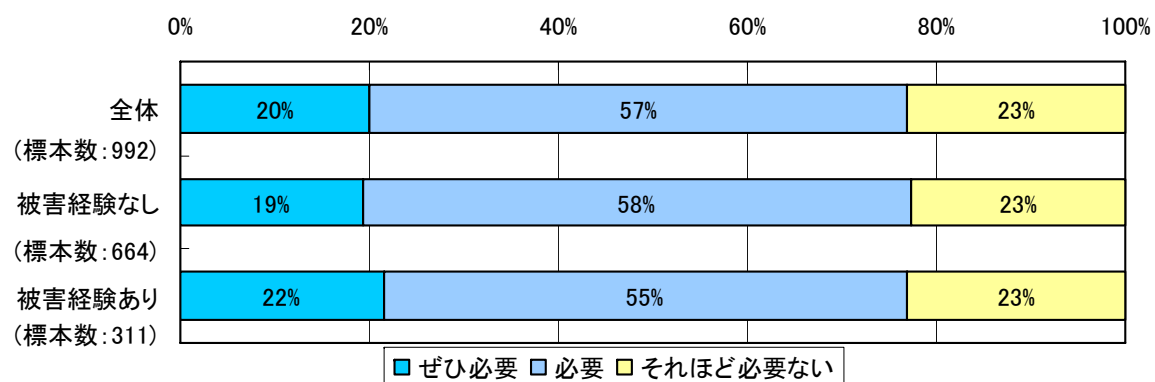
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(f) 避難訓練の実施



標本数: 992



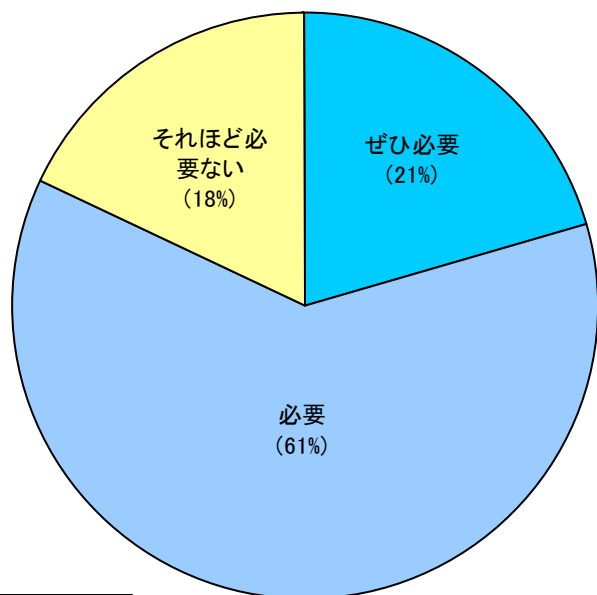
【洪水対策の必要性(f)避難訓練の実施－洪水被害経験の有無別－】

- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると約80%
- ・洪水被害経験の有無で明確な意識の差はみられない

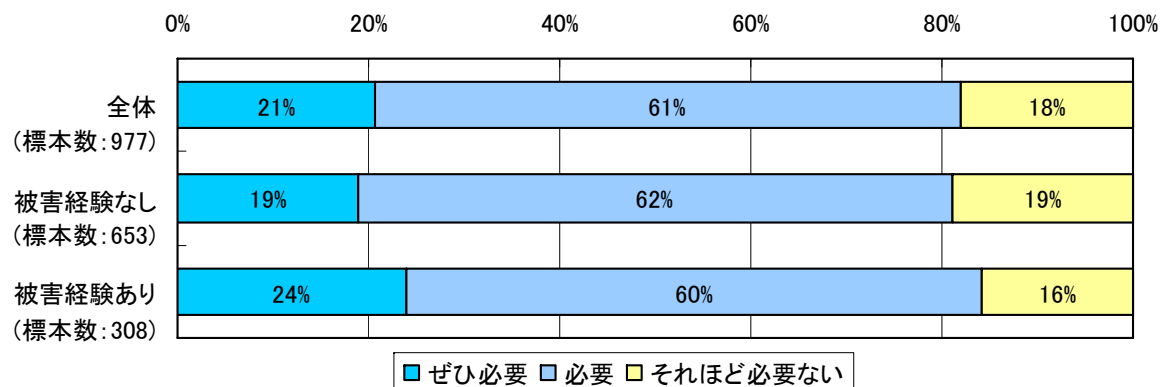
9. 河川整備の進め方について

問24. 次のような項目がどのくらい必要だと思いますか。

(g) 水防組織の拡充



標本数: 977

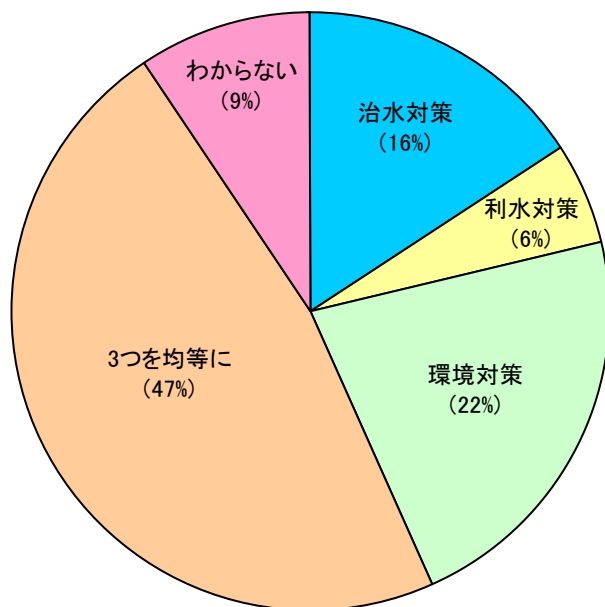


【洪水対策の必要性(g) 水防組織の拡充－洪水被害経験の有無別－】

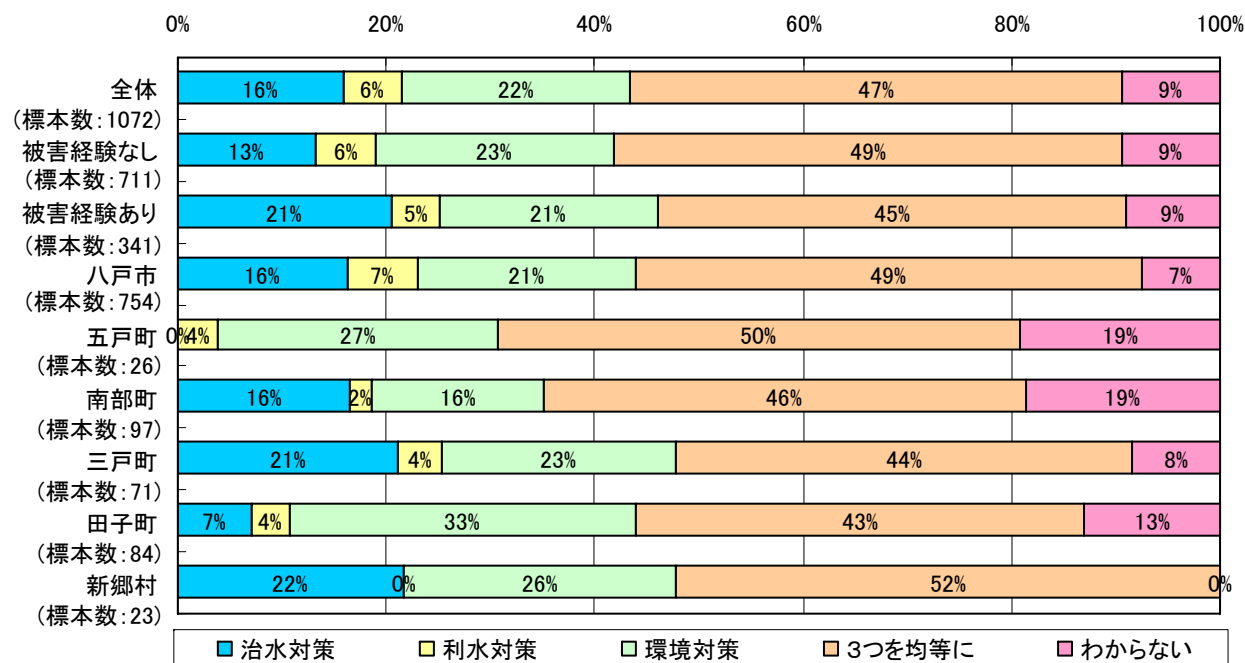
- ・「ぜひ必要」「必要」と回答した人の割合をあわせると約80%
- ・洪水被害経験がある人の方が、「ぜひ必要」と回答した人の割合が比較的大きい

9. 河川整備の進め方について

問25. 今後の河川行政は治水、利水、環境保全の3つのうち、どれにもっとも力を入れるべきだと思いますか。



標本数:1072



・治水、利水、環境を「均等」に対策すべきという回答が全体の約50%と最も多く、続いて環境対策、治水対策、利水対策の順になっている

10. 自由回答

身近にある川への関わり方、考え方、さらに河川行政に関するご意見

- 早急に治水対策を行ってほしい。大雨が降ると大変心配している。
- 治水対策、利水対策は行政の方でなければ進まないと思う。環境対策は地域住民でもある程度出来ると思う。
- 現在環境保全活動(ゴミひろい等)に参加しているが、より多くの市民が参加出来るようにした方が良い。
- 農業用水の安定的な確保、農業被害のないように氾濫危険地帯の整備をしてもらいたい。
- 将来温暖化により、水不足が懸念されるので水の安定した確保が望まれる。
- 自然をそこなうことなく、治水、利水、環境保全を実施できるようにしてもらいたい。
- 川の治水、利水、環境の改善を流域住民も積極的に活動すべきと思う。
- 流域住民を巻き込んで河川行政を進めてもらいたい。